

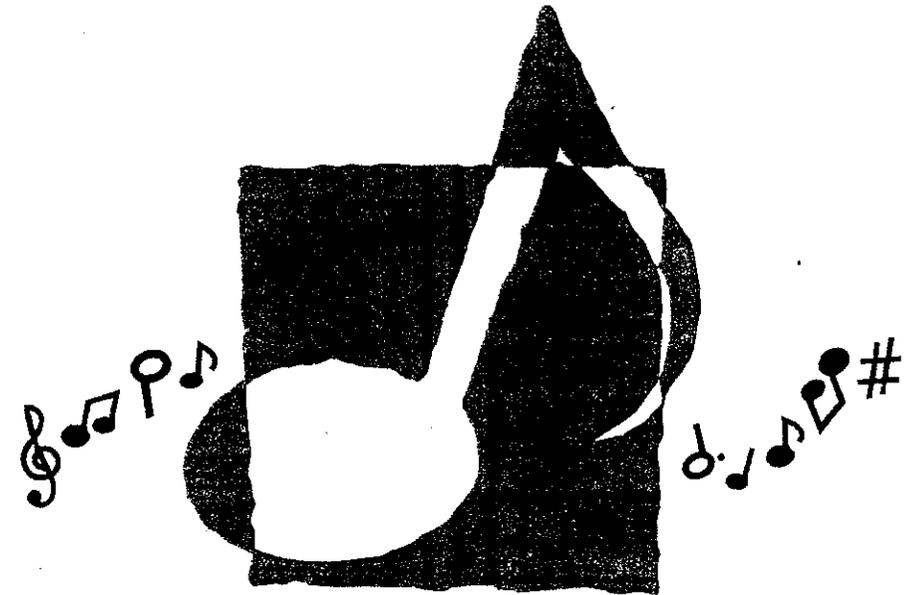
LK-160PC

取扱説明書 (保証書別添)

ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、
正しくお使いください。

本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。

CASIO.



CASIO.

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MAQ207-A Printed in Malaysia
LK160PC-JA-1

LK160PC-JA-1

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)
- ⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)
- 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

	危険
アルカリ電池について	
アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。	
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。	
2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。	

	警告
煙、臭い、発熱などの異常について	
煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源スイッチを切る。 2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。 	
ACアダプターについて	
ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ●必ず本機指定のACアダプターを使用する ●電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する ●1つのコンセントにいっくもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線しない 	
ACアダプターについて	
ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ●重いものを乗せたり、加熱しない ●加工したり、無理に曲げない ●ねじったり、引っ張ったりしない ●電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する 	
ACアダプターについて	
濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。	
電池について	
電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ●分解しない、ショートさせない ●加熱しない、火の中に投入しない ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない ●種類の違う電池を混ぜて使用しない ●充電しない ●極性 (⊕と⊖の向き) に注意して正しく入れる 	

	警告
火中に投入しない	
本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。	
水、異物はさける	
水、液体、異物 (金属片など) が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源スイッチを切る。 2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。 	
分解・改造しない	
本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。	
落とさない、ぶつけない	
本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源スイッチを切る。 2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。 	
袋をかぶらない、飲み込まない	
本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。	
本機やスタンド[®]に乗らない	
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。	

	警告
不安定な場所に置かない	
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	
注意	
ACアダプターについて	
ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない ●プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ずACアダプター本体を持って抜く) 	
ACアダプターについて	
ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ●プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ●雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く ●プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する 	
移動させるときは	
移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
お手入れについて	
お手入れの際は、ACアダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	

注意	
電池について	
電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。	⊘
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で指定されている電池以外は使用しない ● 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく 	⊘
コネクター部への接続	
コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。	⊘
置き場所について	
本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	⊘
<ul style="list-style-type: none"> ● 湿気やほこりの多い場所 ● 調理台のそばなど油煙があたるような場所 ● 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所 	⊘
表示画面について	
<ul style="list-style-type: none"> ● 表示画面の液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。 ● 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。 ● 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。 ● 目に入った、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。 	⊘

注意	
音量について	
大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。	⊘
健康上のご注意	
ごくまれに、強い光の刺激や光の点滅を受けたりしていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。	!
<ul style="list-style-type: none"> ● このような症状のある方がお使いになる場合は、事前に必ず医師と相談してください。 ● 本機を使用する場合には、明るい部屋で使用してください。 ● 使用中にこのような症状がおきた場合には、すぐに使用を中止して、医師の診察を受けてください。 	!
重いものを置かない	
本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	⊘
スタンドは正しく組み立てる	
スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。	!

※スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について	
下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えてください。	
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが暗くなった。 ● 電源が入らなくなった。 ● 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ● 音量が小さくなった。 ● 音質が劣化した。 ● 大きな音を出すと、時々音が途切れる。 ● 大きな音を出すと、突然電源が切れる。 ● 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ● 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定の音色とは異なる音が発音する。 ● リズムやアコースティック曲などが正しく発音されない。 ● 鍵盤の光が発音時に暗くなる。 ● マイクの音量が小さくなった。 ● マイクの音質が劣化した。 ● マイクを使うと電源ランプが暗くなる。 ● マイクを使うと電源が切れる。 ● パソコン、MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。 ● 音が劣化する。音が小さくなる。

- **大型液晶画面に楽譜や鍵盤を押さえるための指使いなどを表示し、キーボード演奏の手助けをします。** ☞8ページ
楽譜表示モードでは、大型液晶画面に表示される楽譜を見ながら演奏地点を確認できるため、安心して演奏することができます。また、指使いはキーボード初心者向けに、無理のない押さえ方を表示します。
- **新たに搭載した大型液晶画面と[▲]/[▼]/[◀]/[▶]カーソルボタンを使用することによって、直感的に音色やリズムの種類を選ぶことができます。** ☞10, 16, 21ページ
本機の大型液晶画面は、パソコンのようにモードによって臨機応変に表示が切り替わるので、画面を見ながらより直感的に操作することができます。
- **インターネットを利用して、楽譜データを本機にダウンロードすることができます。** ☞55ページ
本機では、コンピュータと接続して、カシオのホームページ (CASIO MUSIC SITE) からデータをダウンロードするサービスを利用できます。
- **137音色で演奏できます。(137音色)** ☞16ページ
オーケストラ楽器やシンセサウンド、ドラムセットなど、本体で137もの音色が楽しめます。
- **100種類のリズムに合わせて演奏できます。(100リズム)** ☞21ページ
ロックやポップス、ジャズなど100種類のリズムを備えています。
- **一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。(自動伴奏機能)** ☞23ページ
コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。
- **80曲の自動演奏を鳴らして楽しむことができます。** ☞28ページ
80曲の自動演奏曲を内蔵しています。曲を聴いたり、曲のメロディーなどを消してその部分を自分で弾いたりすることができます。
- **鍵盤の光に合わせて、曲の演奏をすることができます。(3ステップレッスン)** ☞32ページ
自動演奏曲の鍵盤の光を追いかけ、初めは鍵盤を弾くタイミングを覚え、次に自分のペースで、最後に普通の速さで演奏できるようになります。
※ 直射日光の下や非常に明るい照明の下では、鍵盤が光っているのがわかりづらいことがあります。
- **練習した曲を録音、再生してその成果を聴いてみるすることができます。(ソングメモリー機能)** ☞37ページ
3パートの演奏内容を本体内に録音して聴くことができます。本機の3ステップレッスンでソングバンクの曲を練習した後にその成果を録音、再生して聴いてみるすることができます (レッスンソング)。自動伴奏機能と組み合わせることで、本格的なアンサンブルの曲作りも行えます (ユーザーソング)。また、録音した曲を再生すると、メロディーに合わせて鍵盤が光ります。
- **2つの音色をミックスして自由な音作りができます。(レイヤー/スプリット機能)** ☞17, 18ページ
2つの音色を重ねて重厚なサウンドを鳴らしたり (レイヤー機能)、鍵盤の左右に異なる2つの音色を割り当て、左手と右手でアンサンブル演奏 (スプリット機能) をすることができます。
- **DTM用の入力キーボード/音源として利用できます。(GM対応)** ☞53ページ
コンピュータを利用したDTM (デスクトップミュージック) を楽しむためのGM (General MIDI) 音色を内蔵。DTM用の入力キーボード/音源として利用できます。また、市販のGM用ミュージック・データを楽しむ用途にも最適です。
- **受信したMIDIメッセージで鍵盤が光ります。** ☞52ページ
市販のGM用データの指定したチャンネルで、鍵盤を光らせることができます。また、そのチャンネルの音のみを消すことが出来るので、その部分を自分で弾くこともできます。
- **マイク端子にマイクをつなげてカラオケが楽しめます。** ☞15ページ
マイク端子にマイクをつなげれば、ソングバンク曲やダウンロード曲による演奏でカラオケが楽しめます。

安全上のご注意	表紙裏
主な特徴	3
目次	4
各部の名称	6
画面表示の見方	8
3つの表示モード	8
クイックガイド	10
電源について	11
家庭用100V電源で使うときには	11
電池で使うときには	11
オートパワーオフ機能/電源切り忘れの お知らせ機能	12
設定とソングメモリー内容について	13
接続について	14
基本的なボタン操作について	16
音を出してみましょう	16
音色を選ぶには	16
レイヤー機能を使うには	17
スプリット機能を使うには	18
レイヤー/スプリット機能を使うには	19
タッチレスポンス機能を使うには	19
鍵盤の光を消すには	19
メトロノームを使うには	20

自動伴奏を鳴らしてみよう	21
リズムを選ぶには	21
リズムを鳴らすには	22
テンポを調節するには	22
コード自動伴奏を鳴らすには	23
イントロを入れるには	25
フィルインを入れるには	25
同じリズムで演奏パターンを変化させるには	26
バリエーションのリズムにフィルインを 入れるには	26
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには	26
エンディングを付けて曲を終わらせるには	27
伴奏の音量を変えるには	27
ソングバンクの曲を鳴らして みましょう	28
曲を選ぶには	28
曲を鳴らすには	29
曲のテンポを調節するには	29
曲を一時停止するには	30
曲を早戻しするには	30
曲を早送りするには	30
フレーズを繰り返し聴くには	31
メロディーの音色を変えるには	31
全曲(内蔵曲)を通して聴くには	31
曲を練習してみよう (3ステップレッスン)	32
鍵盤の光ガイドについて	32
手の位置ガイドについて	32

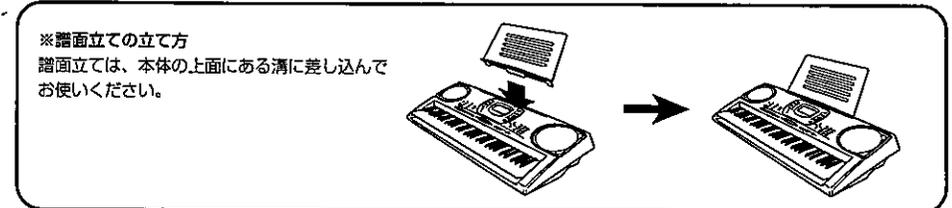
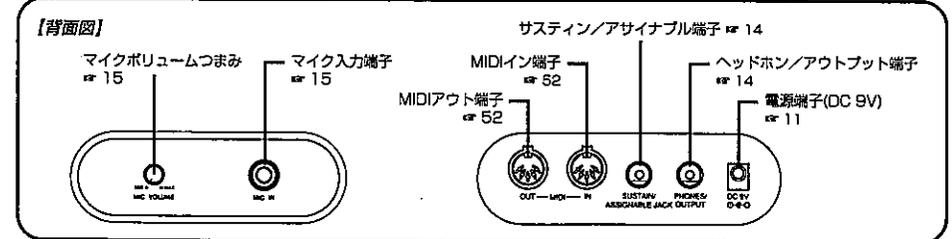
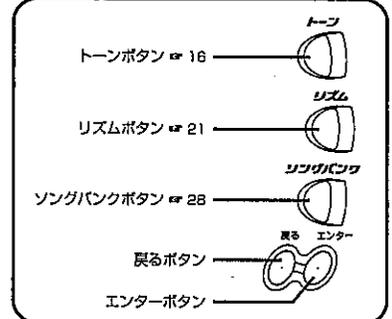
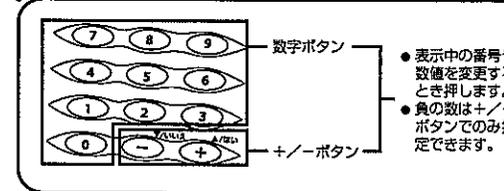
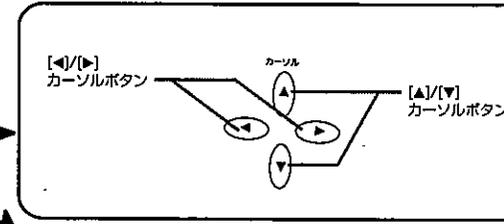
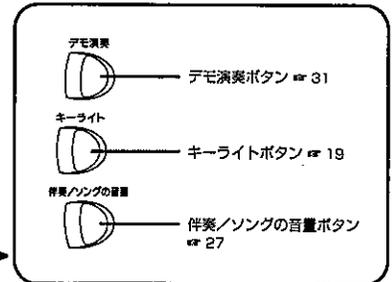
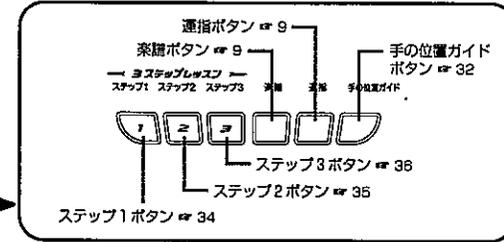
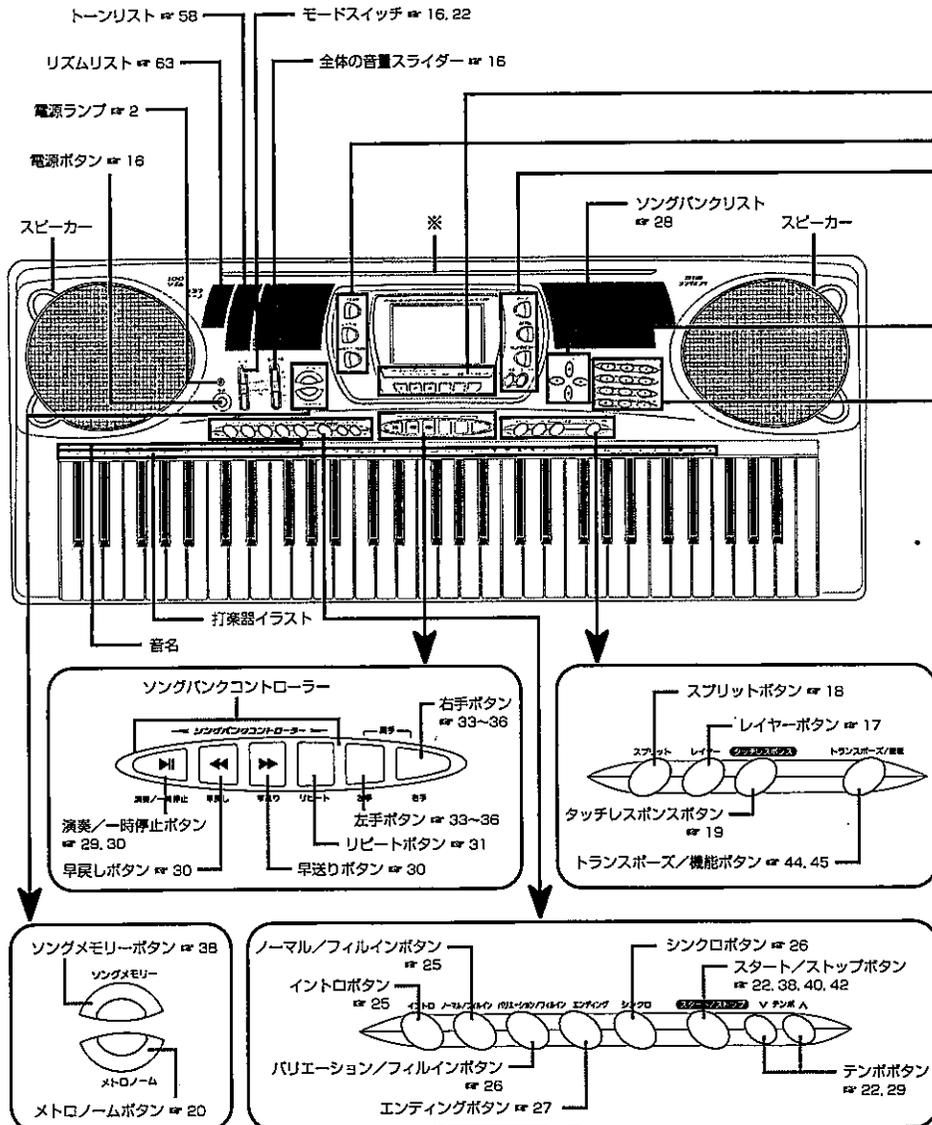
パートの選択	33
3ステップレッスンの画面表示について	33
ステップ1：弾くタイミングを覚えませう	34
ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えませう	35
ステップ3：普通の速さで弾いてみませう	36
演奏を録音してみませう	37
本機で録音できるソングデータと そのトラック(パート)	37
ユーザーソングを録音してみませう	38
録音した内容を聴いてみませう (ユーザーソング)	40
右手メロディーパート(左手メロディーパート) の演奏を重ねて録音してみませう	40
ユーザーソングの特定のトラックの内容を 消去するには	41
レッスンソングを録音してみませう	41
録音した内容を聴いてみませう (レッスンソング)	43
特定の曲を消去するには	43
設定を変えてみませう	44
トランスポーズ機能を利用するには	44
チューニング機能を使うには	45
キーオクターブシフトの設定	45
ナビゲートチャンネルの設定	46
受信中のMIDIデータ再生中に任意の音を オフにするには	46
キーボードチャンネルの設定	46
MIDIインコードジャッジ オン/オフの設定	47
ローカルコントロール オン/オフの設定	47
アカンブMIDIアウト オン/オフの設定	48

GMシステム オン/オフの設定	48
サステイン/アサイナブル端子の設定	49
スプリットポイントの設定	50
サウンドレンジシフトの設定	50
ディスプレイホールドの設定	51
画面コントラストの設定	51
ダウンロードした曲を消去するには	51
MIDIを使ってみませう	52
MIDIについて	52
GMについて	53
本機で送受信可能なメッセージ	53
パソコンでダウンロードした楽譜データを 使うには	55
困ったときには	56
資料	58
トーンリスト	58
音色別発音域表	60
ドラム音色リスト	62
リズムリスト	63
フィンガードコード一覧表	64
製品仕様	65
カシオトーン用ソフトのご紹介	66
ご使用上の注意	66
保証・アフターサービスについて	67
MIDIインプリメンテーション・チャート	

各部の名称

各部の名称

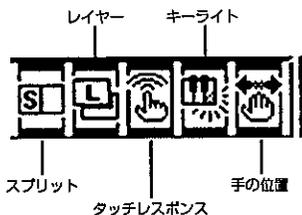
● 番号の数字は、参照ページです。



3つの表示モード

本機には、大型液晶画面に3種類の異なる画面表示モードが用意されています。演奏する楽曲、楽器の状態を素早く認識することができる「通常表示モード」、2段にわたって広範囲の楽譜を見渡すことができる「楽譜表示モード」、楽譜と一緒に指使いも確認することができる「運指表示モード」です。

モードとは「状態」という意味で、ある表示モードにすると、特定の情報だけを迅速に詳しく見ることができます。本機の3つの表示モードは、それぞれ対応する2つのボタンを押すことによって、自由に切り替えることができます。なお、スプリット、レイヤー、タッチレスポンス、キーライト、手の位置のマークは、3つのモードを通して共通に表示されています。

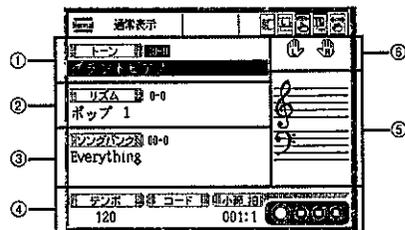


NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは必ずしも本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

通常表示

通常表示モードでは、演奏するために様々な要素を同時に確認することができます。本機では、電源を入れたときは通常表示モードになっています。



- ① 楽曲を演奏する時の音色名を、グループ、番号、名前が表示します。
- ② 楽曲を演奏する時のリズムを、グループ、番号、名前が表示します。
- ③ 演奏する曲名を、グループ、番号、曲名が表示します。
- ④ リズムや自動伴奏、ソングバンクの演奏、ステップレッスン、ソングメモリー機能を利用するときに、テンポ、コードネーム、小節数、拍数、拍インジケータを表示します。
- ⑤ 弾いた鍵盤の音の高さや、ソングメモリー機能の演奏内容、コードフォーム、MIDIで受信したデータなどを五線譜上に表示します。C₆~C₇の音の高さの表示は、五線譜上に1オクターブ低く音符を表示しオクターブ記号(Bva)*を表示します。また、指定のペダルを接続し、ペダルを踏んだときにはペダルマークを表示します。
- ⑥ 3ステップレッスンにおいて、左右のどちらの手(パート)を練習するかを表示します。

*オクターブ記号(Bva)を表示した状態では、C₂~B₂は表示されません。

楽譜表示モード

楽譜表示モードでは2段にわたって広範囲の楽譜を見ることができます。他のモードから楽譜表示モードに切り替えるには、楽譜ボタンを押します。再び通常表示モードに戻るには、もう一度楽譜ボタンを押します。楽譜表示モードでは移動するカーソルが楽譜を追いかけていくので、演奏されている場所を見失うこともありません。停止している時に早送りボタンや巻き戻しボタンを押すと、楽譜をスクロールして見ることができます。

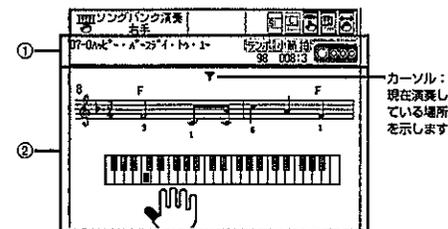


- ① 演奏する曲名を、グループ、番号、曲名が表示します。またその右側には、テンポ、小節数、拍数、拍インジケータを表示します。
- ② 演奏される楽曲の楽譜が、コードネーム*と共に2段で表示されます。

*自動伴奏の曲を演奏する場合のみ、コードネームが表示されます。

運指表示モード

運指表示モードでは楽譜は1段になりますが、鍵盤と手の絵を同時に表示することによって、現在どの指で弾くべきかがわかります。他のモードから運指表示モードに切り替えるには運指ボタンを押します。再び通常表示モードに戻るにはもう一度運指ボタンを押します。運指表示モードでは手の絵は演奏のタイミングに合わせて動いていくので、指くぐりなども簡単にレッスンすることができます。



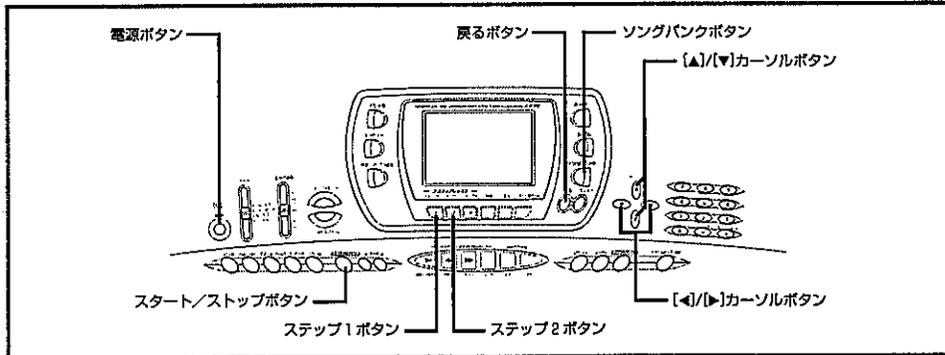
- ① 演奏する曲名を、グループ、番号、曲名が表示します。またその右側にはテンポ、小節数、拍数、拍インジケータを表示します。
- ② 演奏される楽譜が、コードネーム*と共に1段で表示され、その下に鍵盤と手の絵が表示されます。

*自動伴奏の曲を演奏する場合のみ、コードネームが表示されます。

NOTE

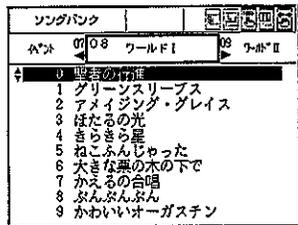
- 両手のレッスン中は、運指ボタンを押してもこの画面は表示されません。
- 両手演奏中、61鍵の範囲で、演奏する鍵盤の範囲が表示画面の鍵盤範囲からはみ出た場合、(鍵盤の絵が薄くなっている範囲になった場合)、表示される鍵盤の範囲が切り替わります。

クイックガイド



本機に内蔵の自動演奏曲を、光のガイドに従って弾きながら、3つのステップでマスターできます。ここではステップ1、2を使って演奏してみましょう。

- 1 電源ボタンを押して電源を入れます。
- 2 ソングバンクボタンを押します。画面表示が切り替わってグループと曲名が一覧できます。



- 3 [◀]/[▶]カーソルボタンを押すと、1つのグループごとに10曲までの名前を一覧することができます。曲名を選ぶには[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。
- 4 グループと曲名を選んだら戻るボタンを押します。
●この画面は何も操作をしなくても、数秒後には元の画面に戻ります。

NOTE

- 通常表示モードにおいて、曲名が強調表示されている時には+/-ボタンまたは数字ボタンを押して曲を呼び出すこともできます。通常表示モードで強調表示の場所を移動するには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。

- 5 ステップ1ボタンまたはステップ2ボタンを押します。
→カウントが鳴り待機状態になります。初めに押さえる鍵盤が点滅します。
- 6 メロディーを弾いてみましょう。
→画面表示は自動的に連指表示モードに切り替わって、楽譜と鍵盤、指使いが表示されます。
- 7 レッソンを途中で止めるときは、スタート/ストップボタンを押します。

**インターネット
楽譜配信サービス
のご案内**

Windows®
95/98/Me/XP
対応

130円/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、歌謡曲
などの豊富なラインアップ！
新曲も続々登場！

<http://music.casio.co.jp/>

●●●「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます●●●

お好きな曲をレポートリに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞の楽譜を表示、
印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて
曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

※本製品には、上記サービスを利用できる
「インターネット楽譜ナビソフト」が同梱されています。

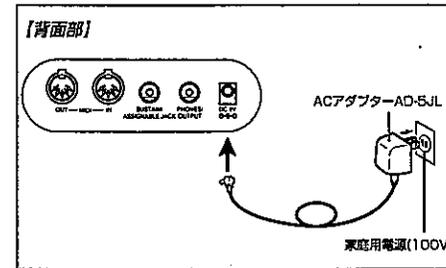
電源について

本機は家庭用100V電源、電池が使える2電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

家庭用100V電源で使うときには

本機指定のACアダプターを接続してください。

本機指定ACアダプターの型式：AD-5JL



なお、ACアダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

- 警告**
- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
- 必ず本機指定のACアダプターを使用する
 - 電源は、AC100V (50/60Hz)のコンセントを使用する
 - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
 - 重いものを乗せたり、加熱しない
 - 加工したり、無理に曲げない
 - ねじったり、引っ張ったりしない
 - 電源コードやプラグが濡んだらお買い上げの販売店またはカシオテクニカルサービスステーションに連絡する
 - 濡れた手でACアダプターに触れない

- 注意**
- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
 - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ずACアダプター本体を持って抜く)
 - プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 - 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
 - プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまるように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

- 重要**
- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
 - ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

電池で使うときには

電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

- 1 本機底部面の電池ケースのフタをはずします。
- 2 単1形電池6本を入れます。
●⊕ ⊖の向きに注意してください。
- 3 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

NOTE

- 電源を入れたまま電池を交換すると、正常に機能しない場合があります。この場合、一度電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

電池について

- 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。
 - マンガン電池使用時……約4時間*
- ※常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。
- 下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。
 - 電源ランプが暗くなった。
 - 電源が入らなくなった。
 - 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
 - 音量が小さくなった。
 - 音質が劣化した。
 - 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
 - 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
 - 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
 - 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
 - 指定の音色とは異なる音を発音する。
 - リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
 - 鍵盤の光が発音時に暗くなる。
 - マイクの音量が小さくなった。
 - マイクの音質が劣化した。
 - マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
 - マイクを使うと電源が切れる。
 - パソコン、MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。

⚠警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性 (⊕と⊖の向き) に注意して正しく入れる

⚠注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

オートパワーオフ機能/電源切り忘れのお知らせ機能

オートパワーオフ機能について

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約6分で自動的に電源が切れます。この場合、電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

NOTE

- アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は動きません。

電源切り忘れのお知らせ機能

電源を入れたまま本機を放置すると、約6分後に鍵盤が光って、電源の切り忘れをお知らせします。(このとき、音は出ません。) この場合、各ボタンや鍵盤を押すと、電源を入れたときの状態に戻ります。

NOTE

- 電池を使用しているときは、電源切り忘れのお知らせ機能は動きません。

オートパワーオフ機能、電源切り忘れのお知らせ機能をキャンセルするには

トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れたり、電源切り忘れのお知らせ機能が働くことはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すと、オートパワーオフ機能が働くようになります。

設定とソングメモリー内容について

設定の保持

本機では、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の動きで電源が切れた後も、選んだ音色やリズムの種類など演奏のための主な設定*が記憶されており、次に電源を入れたときと同じ設定になります。ただし、以下の「※演奏のための主な設定」中の*印の項目については、デモ演奏ボタンやステップボタン 1~3を押した時点で、その時演奏される曲のおすすめの値に戻ります。

※演奏のための主な設定

音色番号*、レイヤー、スプリット、スプリットポイント、タッチレスポンス、リズム番号、テンポ*、伴奏/ソングの音量*、アコンプ/MIDIアウト オン/オフ、サステイン/アサインابل端子の設定、キーボードチャンネル、ソングバンク番号、メトロノーム拍子、チューニング*、ナビゲートチャンネル左右、コントラスト、ディスプレイホールド

ソングメモリー内容の保持

ソングメモリー機能を使って本機に記憶させた内容も、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の動きで、電源が切れた後も保持されます。

「ダウンロード曲」の保持

パソコンから本機へ「ダウンロード曲」として転送した曲データも、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の動きで、電源が切れた後も保持されます。

電源の役割

上記の設定やソングメモリーは、本機への電源供給が続いている限り保持されます。電池を入れずにACアダプターを抜いたり、電池作動中に電池が消耗した場合など、本機への電源供給が絶たれると、各設定は初期状態に戻り、記憶内容は消去されます。

設定や記憶内容を保つためには

本機への電源供給が途切れると、各設定は初期状態に戻り、記憶内容は消去されます。設定や記憶内容を保つためには、下記の事項を守ってください。

- 電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、消費していない電池を入れておいてください。

なお、上記の操作は電源ボタンで電源を切ってから行ってください。

重要

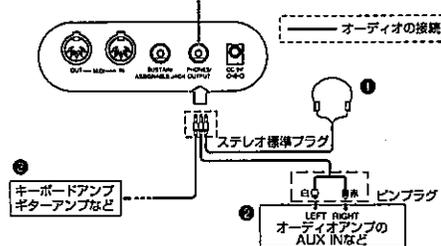
- 本機を電池でお使いの場合、電池が消耗している状態で使用続けると、本機内部のデータ(ダウンロードした曲データや、本機の各設定など)が、バックアップされず消える恐れがあります。

ヘッドホン/アウトプット端子について

準備

- 接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】ヘッドホン/アウトプット端子



●ヘッドホンをつなぐには (図①)

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには (図②)

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

●楽器用アンプと接続するには (図③)

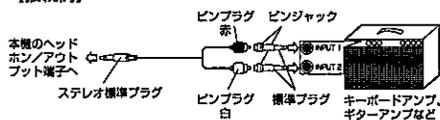
相手側の機器に応じて、市販の接続コード[※]を使用します。

※市販の接続コード

本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの
アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。
（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】

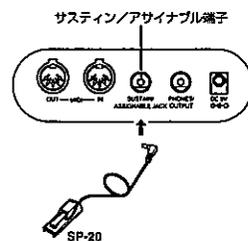


コンピュータとの接続について

コンピュータ（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（52ページ「MIDIを使ってみましょう」参照）。

サスティン/アサインブル端子について

サスティン/アサインブル端子にサスティンペダル（SP-2またはSP-20）を接続すると、下記のような使い方ができます。それぞれの設定方法については、「サスティン/アサインブル端子の設定」（49ページ）をご参照ください。



●サスティンペダルとして使うと

- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果がかかります。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」がかかります。

●ソステヌートペダルとして使うと

- サスティンペダルと同様の効果が、鍵盤で弾いた音にかかります。
- サスティンペダルとの違いは効果をかけるタイミングにあります。
- 鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏めば、その音に対してのみ効果がかかります。

●ソフトペダルとして使うと

鍵盤で弾いた音の音色がやわらかくなります。

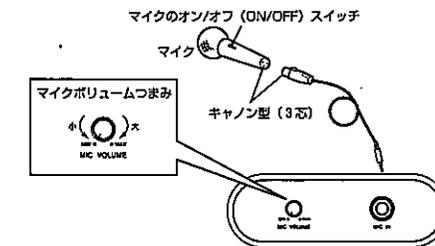
●リズムのスタート/ストップとして使うと

ペダル操作で、リズムのスタート/ストップボタンと同じ働きをします。

マイク入力端子について

マイク入力端子に市販のマイクを接続すれば、自動演奏曲やMIDI音源による演奏でカラオケが楽しめます。マイクを接続するときはマイクボリュームを絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

- 1 マイクを接続するときはマイクボリュームつまみを“小”の方向に絞っておきましょう。
- 2 マイクのオン/オフ (ON/OFF) スイッチを“オン (ON)”にします。
- 3 マイクボリュームつまみで適切な音量に調整しましょう。



重要

- マイクを使用しないときは、オン/オフ (ON/OFF) スイッチを“オフ (OFF)”にして、マイクをマイク端子から抜いてください。

マイクは下記条件の整った市販品をご使用ください。

- マイクの種類： マイク（本体）が金属シールドされたもの
- マイクとコード接続端子： キャノン型（3芯）
- 本機への接続端子： 標準プラグ（モノラル）

重要

- パーソナルコンピュータを接続したときに、雑音が入ることもあります。また、その他の外部機器からの雑音を防止するためにも、マイク本体が金属シールドされたキャノン型マイクを使用してください。
- マイクを使用しないときは、マイクをマイク入力端子から抜いてください。

●ハウリングについて

下記のようなことを行うと、キーンという音（ハウリング）が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに近づける。

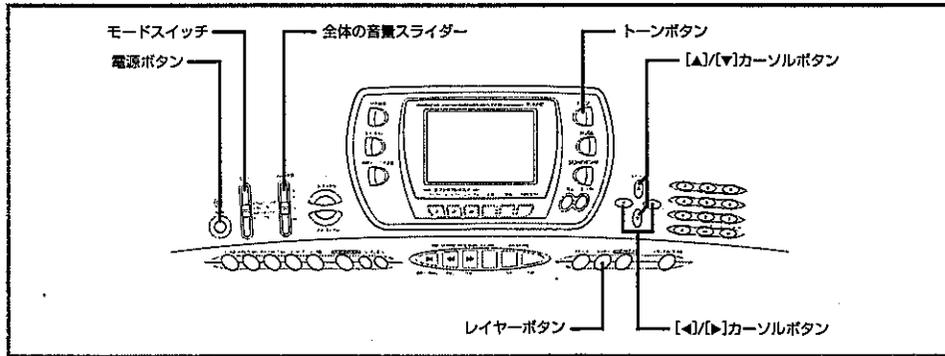
このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーから遠ざければ鳴りやみます。

●ノイズについて

蛍光灯などの近くでマイクを使用するとノイズ（雑音）が発生する場合があります。このような時は、蛍光灯などのノイズを発生させている場所からマイクを離すことでノイズを拾わず、ノイズは鳴らなくなります。

付属品・別売品について

- 付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。



ここでは本機の基本的な操作を説明します。

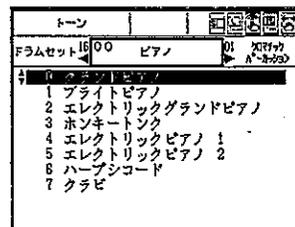
音を出してみましょう

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 3 全体の音量スライダーを調節します(最初は小さめにしておきましょう)。
- 4 鍵盤を弾きます。
→表示されている音色で音が鳴ります。

音色を選ぶには

本機には、137種類の音色が内蔵されています。ここでどんな音色が入っているのかを試してみましょう。

- 1 トーンボタンを押します。
→画面表示が音色を選ぶ画面に切り替わります。音色グループ1つにつき9個までの音色名を一覧することができます。



NOTE

- 何もしなくても数秒後には通常表示モードに戻ります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンで音色のグループを選び、[▲]/[▼]カーソルボタンで鳴らしたい音色を選びます。
→指定した音色が採用されます。
● 戻るボタンを押すと通常表示画面に戻ります。

NOTE

- 何もしなくても数秒後には通常表示モードに戻ります。
- 通常表示において、音色名が強調表示されている時には+/-ボタンまたは数字ボタンを押して音色を呼び出すこともできます。通常表示で強調表示の場所を移動するには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。
- 画面中央の音色グループ表示名が太枠で覆われている時は、数字ボタンで音色グループ番号を変更できます。グループ番号が確定すると太枠が音色リストに移り、数字ボタンで音色を選ぶことができます。また、トーンボタンを押すことに太枠を移動できます。
- 音色グループと音色名については、「トーンリスト」(58ページ)を参照してください。
- 音色番号16-0~8のドラムセットは、鍵盤ごとに異なる打楽器が割り当てられています(鍵盤上の打楽器イラストおよび62ページ参照)。

同時発音数について

本機では、同時に最大24音まで発音します。ただし、一部の音色では2種類の音色を組み合わせるため、最大12音になる場合もあります。リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

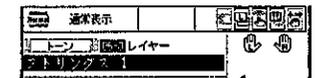
デジタルサンプリングの音色について

本機に搭載されている音色のほとんどは、「デジタルサンプリング」という電子技術により、生の楽器の音を録音、加工したものです。こうした音色の中には、元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するため、低域、中域、高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ピッチを変更してひとつの音色に仕上げたものがあります。一部の音色で、鍵盤によって音質や音量が若干異なる個所がありますが、これは上記のようなサンプリング処理における音域の境目(スプリットポイント)で、故障ではありません。

レイヤー機能を使うには

レイヤー機能とは、2種類の音色を重ねて演奏するための機能です。この機能を利用すれば、内蔵音色の中から2つの音色(メイン音色とレイヤー音色)を選んで同時に発音させることで、まったく新しいサウンドを創ることができます。例えばプラスの音色にフレンチホルンの音色を重ねれば、厚みのあるプラスサウンドで鍵盤演奏が楽しめます。

- 1 メイン音色を指定します。
→16ページ「音色を選ぶには」を参照してください。
- 2 レイヤーボタンを押します。
→通常表示画面のレイヤーマークが点灯します。音色名に「レイヤー」と表示され、新たに重ねる音色を指定できるようになります。

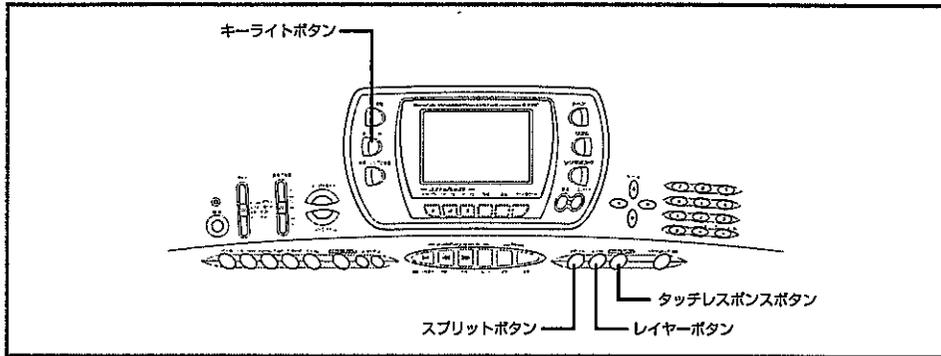


- 3 メイン音色を指定するのと同じ手順で、鳴らしたい音色を指定します。
- 4 鍵盤を弾いてみましょう。
→2つの音色が同時に鳴ります。

[レイヤー]



- 5 レイヤーボタンをもう一度押すと、通常の状態に戻ります。

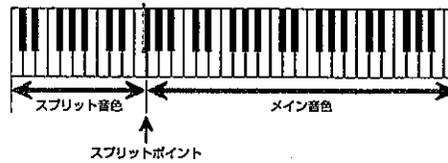


スプリット機能を使うには

スプリット機能とは、2つの異なる音色を鍵盤の高域と低域に分ける機能です。両手で鍵盤を演奏するとき、この機能を使って高域と低域に異なる音色を割り当てれば、2種類の楽器を左右に分けて演奏することができます。例えば低域にピチカート、高域にストリングスを割り当てることで、ストリングスアンサンブルを表現することができます。

- ① メイン音色を指定します。
→16ページ「音色を選ぶには」を参照してください。
 - ② スプリットボタンを押します。
→通常表示画面のスプリットマークが点灯します。音色名に「スプリット」と表示され、新たに低域に使用する音色を選ぶようになります。
-
- ③ メイン音色を指定するのと同じ手順で、低域の音色を指定します。
 - ④ 鍵盤を弾いてみましょう。
→F3より下の鍵盤でスプリット音色が鳴り、F3から上の鍵盤でメイン音色が鳴ります。

【スプリット】



- ⑤ スプリットボタンをもう一度押すと、通常の状態に戻ります。

スプリットポイントを変更するには

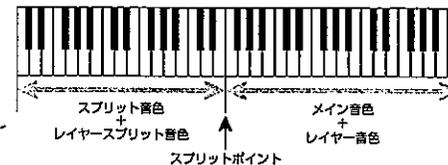
スプリット機能を使う際の、低音部と高音部の境目（スプリットポイント）を変更することができます。トランスポーズ/機能ボタンを使って設定します。詳しくは、50ページの「スプリットポイントの設定」を参照してください。

レイヤー/スプリット機能を使うには

レイヤー状態からスプリットボタンを押すか、スプリット状態からレイヤーボタンを押すと、それぞれの機能を兼ね備えた「レイヤースプリット」という状態になります。これは2種類のレイヤーサウンドが高域と低域で利用できるので、同時に4種類の音色を使って演奏することができるようになります。

- ① メイン音色を指定します。
→16ページ「音色を選ぶには」を参照してください。
- ② スプリット機能を使ってスプリットのメイン音色を指定します。
→18ページ「スプリット機能を使うには」を参照してください。
- ③ スプリット音色を指定した後、スプリットボタンを押してスプリットを解除しておきます。
- ④ レイヤー機能を使って高域のレイヤー音色を指定します。
→17ページ「レイヤー機能を使うには」を参照してください。
- ⑤ スプリットボタンを押してレイヤースプリットの状態にします。
→これで4つ目の音色である低域のレイヤー音色が指定できるようになりました。
- ⑥ 低域のレイヤー音色を指定します。
- ⑦ 鍵盤を弾いてみましょう。
→スプリットポイントを境目にして、高域と低域で異なるレイヤー音色が鳴ります。

【レイヤースプリット】



- ⑧ レイヤーボタンとスプリットボタンをそれぞれ押すと、通常の状態に戻ります。

タッチレスポンス機能を使うには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を強く強く弾く強弱で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を強く強く弾く強弱で音量が変化します。タッチレスポンス機能をオフにすると、オルガンのようにどんな強さで鍵盤を弾いても一定の音量が出ます。

- ① タッチレスポンスボタンを押して、機能のオン/オフを切り替えます。
→タッチレスポンス機能がオンになると、画面表示のタッチレスポンスマークが点灯します。



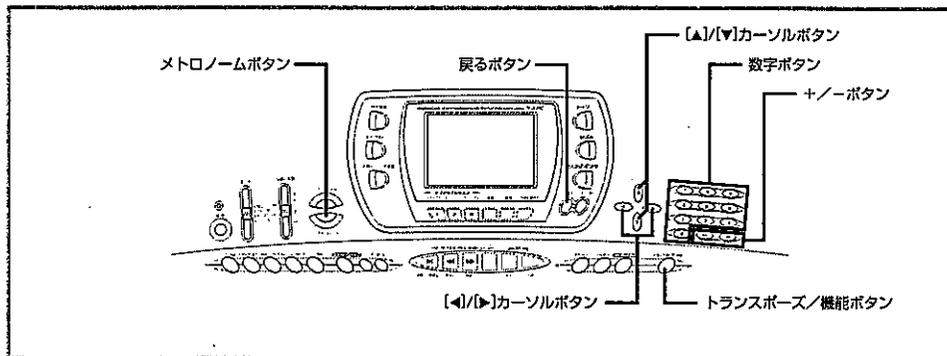
鍵盤の光を消すには

- ① キーライトボタンを押して、機能のオン/オフを切り替えます。
→キーライトをオフにすると、画面表示のキーライトマークが消灯します。



NOTE

- 電源を入れ直すとキーライトはオンになります。



メトロノームを使うには

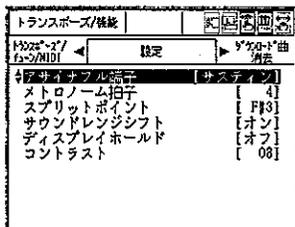
本機は、メトロノームを鳴らすことができます。メトロノーム音には小節の1拍目に鳴るベル音と、その他の拍に鳴るクリック音があります。伴奏(リズム)のない曲の練習に活用することができます。

メトロノームボタンを押すごとに、メトロノームのオン/オフが切り替わります。

拍子を変更するには

本機では、拍子を0(クリック音のみ)、2拍子から6拍子までの間で設定できます。

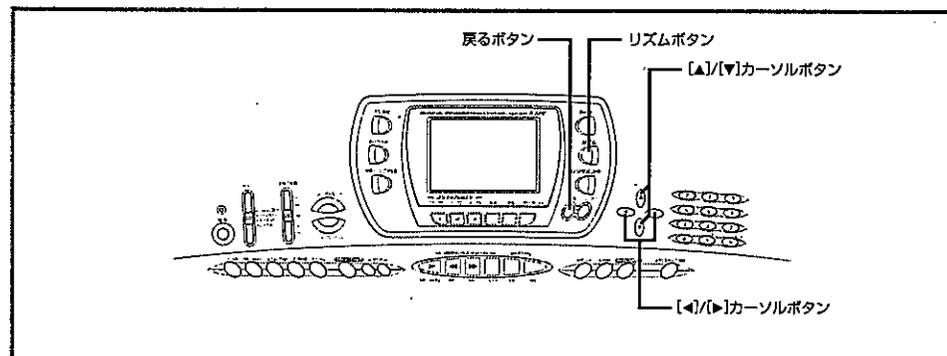
- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、設定グループを表示させます。



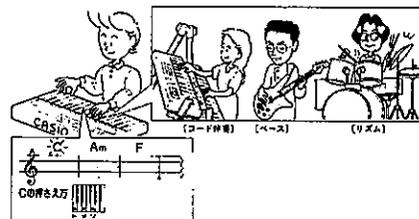
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「メトロノーム拍子」を強調表示させます。
- 4 +/-ボタンまたは数字ボタンを押して、拍子を切り替えます。
- 5 戻るボタンを押すと、もとの画面表示に戻ります。

NOTE

- ソングバンクの曲を演奏したりステップレッスンのステップ3を練習する場合にも、メトロノームを使うことができます。
- メトロノームの音量は、伴奏/ソングの音量ボタンで調節できます



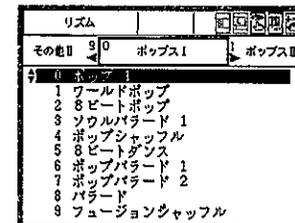
本機では、曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート(低域)とコード伴奏パートを同時に鳴らすことができます。これらのパートはリズム(打楽器音)と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気合った音色が鳴ります。これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



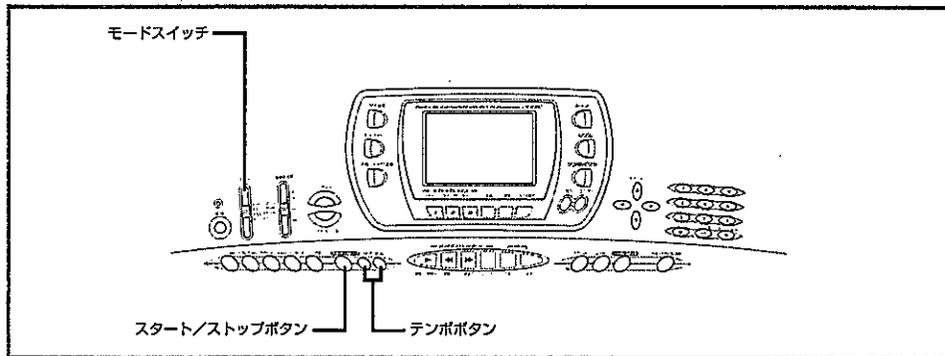
リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、100種類のリズムが搭載されています。

- 1 リズムボタンを押します。
→画面表示が切り替わってリズムグループとリズム名が一覧できます。



- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押すと、1つのリズムグループごとに10種類のリズム名を一覧することができます。リズムを選ぶには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。
- 3 リズムグループとリズム名を選んだら戻るボタンを押します。
● この画面は何も操作をしなくても、数秒後には元の画面に戻ります。



- NOTE**
- リズムグループとリズム名については、「リズムリスト」(B3ページ)を参照してください。
 - 通常表示において、リズム名が強調表示されている時には、+/-ボタンまたは数字ボタンを押してリズムを呼び出すこともできます。通常表示で強調表示の場所を移動するには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。
 - 画面中央のリズムグループ表示名が太枠で覆われている時は、数字ボタンでリズムグループ番号を変更できます。グループ番号が確定すると太枠がリズムリストに移り、数字ボタンでリズムを選ぶことができます。また、リズムボタンを押すごとに太枠を移動できます。

リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

- モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- スタート/ストップボタンを押します。
→選ばれたリズムが鳴り始めます。
●スタート/ストップボタンをもう一度押すと停止します。

- NOTE**
- モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

コード自動伴奏を鳴らすには

- 準備**
- リズムを選び、テンポを調節します。

- モードスイッチを“カシオコード”、“フィンガード”、“フルレンジコード”のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。
- スタート/ストップボタンを押して、リズムをスタートさせます。
- 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。
●伴奏鍵盤や具体的な方法については、モードスイッチの設定に応じて、
「カシオコード」.....23ページ
「フィンガード」.....23ページ
「フルレンジコード」.....25ページ
を参照してください。
→選んだリズムと運動したコード自動伴奏が始まります。画面表示には、コードの基本形が楽譜で表示されます。
- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、自動伴奏が停止します。

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏/メロディー鍵盤】



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

テンポを調節するには

テンポ(1分間に演奏される拍数)を30~255の範囲で調節します。
テンポの設定は、ソングバンク、3ステップレッスン、コード自動伴奏、ソングメモリー機能、メトロノーム機能の全てに対して有効です。

- テンポボタンを押します。
▲.....数値が増える(速くなる)
▼.....数値が減る(遅くなる)



- NOTE**
- 通常表示において、[▲]/[▼]カーソルボタンを押してテンポを強調表示させると、+/-ボタンまたは数字ボタンでも調節ができます。
 - テンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムのおすすめのテンポに自動的に調節されます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C 音名 → (Cメジャー)
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm (Cマイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7 (Cセブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス)

- NOTE**
- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵/黒鍵を問わずどれでも使用できます。
 - コードの指定方法がカシオコードの場合、スプリット機能をオンにして伴奏鍵盤を押しても、スプリット音色とレイヤースプリット音色は発音しません。

フィンガードについて

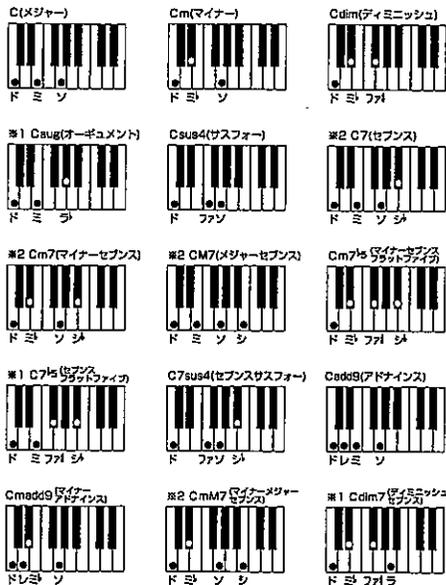
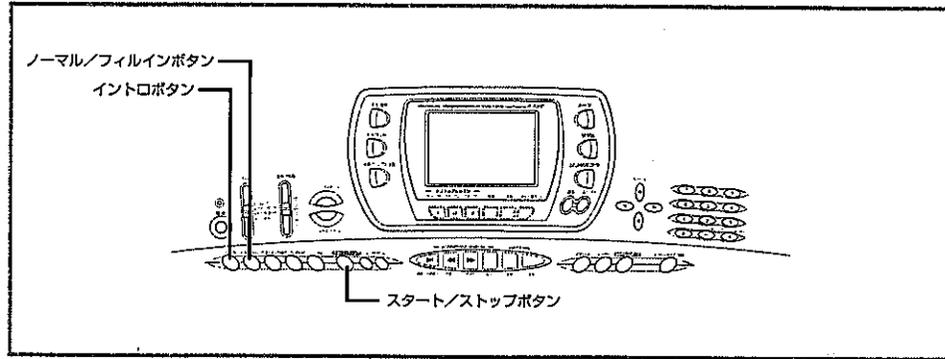
この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法(“C”を根音とした場合)は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏/メロディー鍵盤】



重要

- 伴奏鍵盤では、スプリット音色やレイヤースプリット音色が発音します。



- ※1: 転回形 (下の NOTE を参照) は使えません。最低音が根音となります。
- ※2: 5度のソの音を押さなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方 (例えばCを「ドミソ」と押さえる) だけでなく、転回形 (コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる) も有効です。
...※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
...※2のコードを除く。

NOTE

- 根音が「C」以外の場合は、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります (64ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類を加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外 (本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合) ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

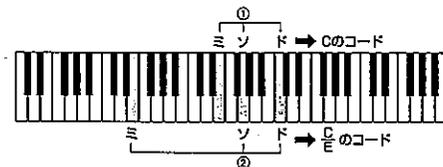
【フルレンジコードの伴奏/メロディー鍵盤】



●本機で判別できるコード

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類 (23ページ「フィンガードについて」参照)
それ以外のコード	23種類 以下は、「C」をベース音とした場合の例です。 Ce, Cms, Cas D ^b , D, E, F, G, A ^b , B ^b C, C, C, C, C, C, C, C, B, D ^b m, Dm, Fm, Gm, Am, B ^b m C, C, C, C, C, C, C, C, Ddim, A ^b 7, F7, Fm7, Gm7, A ^b add9 C, C, C, C, C, C, C, C,

(例) Cメジャーの場合
Cメジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。



NOTE

- 転回形についてはフィンガードと同様です。(①)
- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。(②)

イントロを入れるには

リズム演奏や自動伴奏を始める前に、イントロ (前奏) を入れることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節します。
- モードスイッチでモードを設定しておきます。

- 1 イントロボタンを押します。
→ 選んだリズムに応じたイントロを開始します。
● このとき伴奏鍵盤を弾くと、イントロ自動伴奏が加わります。

NOTE

- イントロが鳴り終わると通常のリズムパターンに戻ります。
- イントロが鳴っているときに、バリエーション/フィルインボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからバリエーションのリズムになります。
- イントロが鳴っているときに、エンディングボタンを押すと、次の小節の頭からエンディングのリズムになり、リズム (伴奏) が終了します。

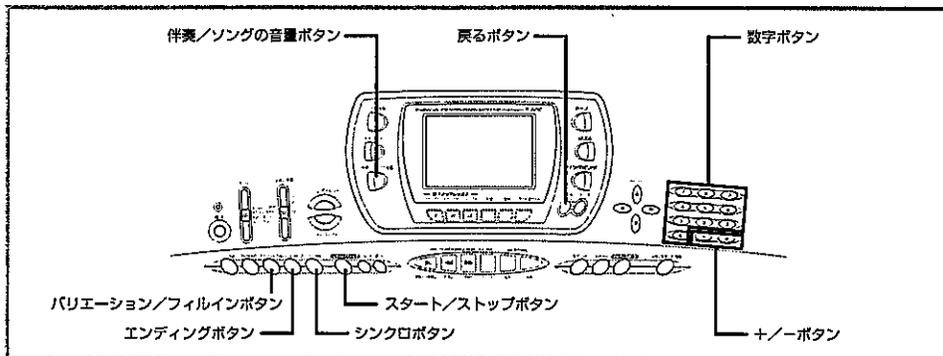
フィルインを入れるには

フィルインとは、演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

- 1 スタート/ストップボタンを押して、リズムを鳴らします。
- 2 ノーマル/フィルインボタンを押します。
→ リズムにフィルインが入ります。

NOTE

- イントロが鳴っている最中にボタンを押しても、フィルインは鳴りません。



同じリズムで演奏パターンを変化させるには

選択されているリズムの演奏パターンを変化させることによって、伴奏の雰囲気を変えたり、曲の場面によって表情を変えることができます。

- 1 スタート/ストップボタンを押して、リズムを鳴らします。
- 2 バリエーション/フィルインボタンを押します。
→選んだリズムのバリエーションに切り替わります。

NOTE

- 通常（ノーマル）のリズムに戻すには、もう一度ノーマル/フィルインボタンを押します。

バリエーションのリズムにフィルインを入れるには

バリエーションのリズムに変化を持たせることができます。

- 1 バリエーションのリズムが鳴っているときに、バリエーション/フィルインボタンを押します。
→バリエーションのリズムにフィルインが入ります。

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと、リズムとコード伴奏を同時にスタートさせることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節します。
- モードスイッチでモードを設定しておきます。

- 1 シンクロボタンを押して、シンクロスタートの待機状態にします。
- 2 伴奏鍵盤でコードを指定します。
→リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- モードの設定をノーマルにしてある場合は、鍵盤を押すとリズムのみが鳴り始めます。
- 鍵盤を押す前にイントロボタンを押しておく、イントロからシンクロして鳴り始めます。
- 鍵盤を押す前にバリエーション/フィルインボタンを押しておく、バリエーションからシンクロして鳴り始めます。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロボタンを押すと待機状態が解除されます。

エンディングを付けて曲を終わらせるには

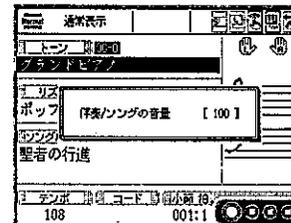
選ばれたリズムに最適なエンディングを加え、伴奏を自動的に停止します。

- 1 リズム(伴奏)が鳴っているときに、エンディングボタンを押します。
→リズムに応じたエンディングに切り替わり、リズム(伴奏)を終了します。

伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。伴奏の音量の範囲は、「000」～「127」です。

- 1 伴奏/ソングの音量ボタンを押します。
→画面表示が伴奏の音量を設定できる画面に切り替わります。



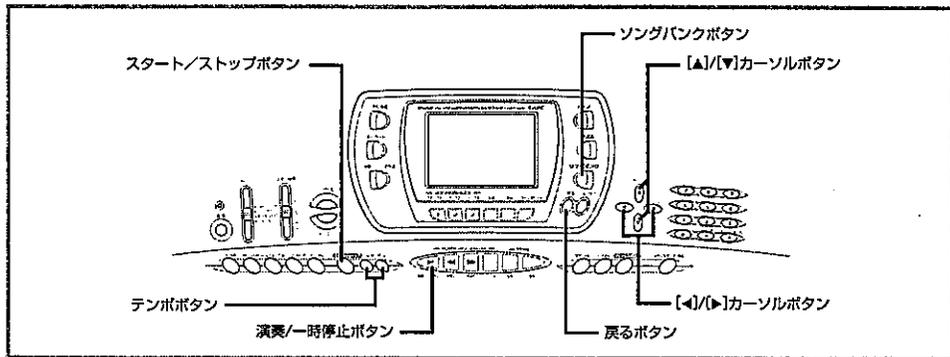
- 2 +/−ボタンを押して伴奏の音量を指定します。数字ボタンを使って直接入力することもできます。音量は3桁なので100未満の場合は最初に0を押してください。
- 3 戻るボタンを押します。また、何も操作をしなくても、数秒後には元の画面に戻ります。

NOTE

- 手順2で+と−ボタンを同時に押したときには、「100」になります。

ソングバンクの曲を鳴らしてみよう

ソングバンクの曲を鳴らしてみよう



本機には、80種類の自動演奏曲がソングバンクに内蔵されています。ソングバンクの中から好きな曲を選んで自動演奏を聴いたり、メロディーや伴奏を消してご自分で演奏することができます(3ステップレッスン)。曲の演奏中には、メロディーや伴奏を弾くための指使いや音の高さが液晶や鍵盤の光で表示されますので、ご自分で演奏するときのガイドとして利用できます。パソコンを使ってダウンロードした曲も、「ダウンロード曲」として本機のソングバンク曲に保存されますので、ここで選んで再生することもできます。詳しくは、55ページの「パソコンでダウンロードした楽譜データを使うには」を参照してください。

曲を選ぶには

- 1 ソングバンクボタンを押します。画面表示が切り替わってグループと曲名が一覧できます。



●パソコンを使ってダウンロードした曲は、グループ名「ダウンロード曲」に保存されています。

- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押すと、1つのグループごとに10曲までの名前を一覧することができます。曲名を選ぶには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。

- 3 グループと曲名を選んだら戻るボタンを押します。
 - この画面は何も操作をしなくても、数秒後には元の画面に戻ります。

NOTE

- 本機パネル上にあるソングリストで、内蔵曲を一覧できます。
- 通常表示において、曲名が強調表示されている時には、+/-ボタンまたは数字ボタンを押して曲を呼び出すこともできます。通常表示で強調表示の場所を移動するには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。
- 画面中央の曲グループ表示名が太枠で覆われている時は、数字ボタンで曲グループ番号を変更できます。グループ番号が確定すると太枠が曲リストに移り、数字ボタンで曲を選ぶことができます。また、ソングバンクボタンを押すことに太枠を移動できます。

**インターネット
楽譜配信サービス
のご案内**

Windows®
95/98/Me/XP
対応

130円/1曲から購入可能。人気のJ-POPやアニメ、歌謡曲などの豊富なラインアップ。新曲も続々登場!

http://music.casio.co.jp/

●●●「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます●●●

お好きな曲をレパードリーに加えてみませんか? メロディー・コード・歌詞付きの楽譜を表示、印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。カラオケや鍵盤楽譜以外の練習にも最適!

※本製品には、上記サービスを利用できる「インターネット楽譜ナビソフト」が同梱されています。

曲を鳴らすには

- 1 ソングバンクの曲を選びます。
- 2 演奏/一時停止ボタンを押します。
 - 画面に表示されている曲の演奏が始まります。
 - 現在演奏している小節と拍数が表示されます。
- 3 スタート/ストップボタンを押すと、曲の演奏が止まります。
 - 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

NOTE

- 曲の演奏中でも、曲名が強調表示されている時には、+/-ボタンまたは数字ボタンを押すことによって別の曲が選べます。この場合は、曲の途中で直ちに次の曲が演奏されます。

曲の音量を調節するには

曲の演奏が始まった時には、音量は「127」に設定されます。ソングバンクの演奏中やステップレッスン中に、曲の音量を調節することができます。伴奏/ソングの音量ボタンを押して、+/-ボタンまたは数字ボタンで曲の音量を指定します。

ソングバンク演奏中の光ガイドと画面表示について

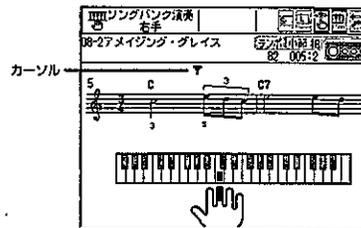
ソングバンクの演奏中は、鍵盤が光ってそれぞれのパートの押さえるべき鍵盤が示されます(光ガイド)。同時に画面表示では、楽譜ボタンを押すことによってその曲の楽譜を見ることができ、選指ボタンを押すことによって、指使いを確認することができます。

【楽譜表示モード】



- 楽譜表示モード中、右手、左手ボタンを使って、画面の楽譜表示を右手・左手・両手のパート表示に切り替えることができます(両手演奏曲のみ)。

【選指表示モード】



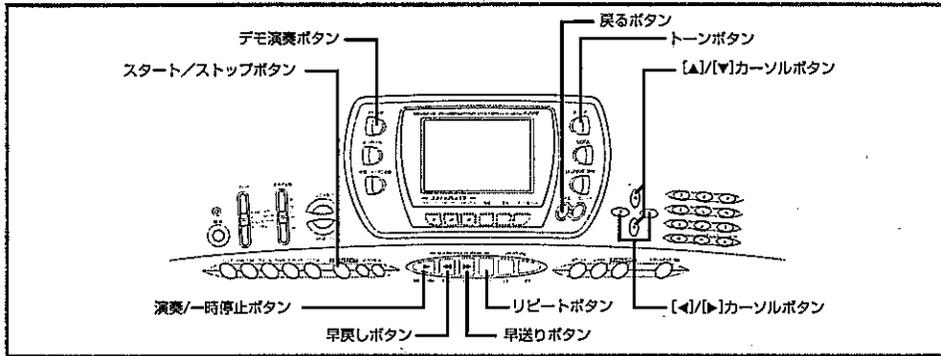
曲のテンポを調節するには

曲の演奏が始まった時には、その曲のおすすめのテンポが設定されています。曲の演奏中、テンポの値(1分間に演奏される4分音符の数)は30~255の範囲で自由に調節することができます。

- 1 テンポボタンを押します。
 - ▲.....数値が増える(速くなる)
 - ▼.....数値が減る(遅くなる)

NOTE

- 通常表示において、[▲]/[▼]カーソルボタンを押してテンポを強調表示させると、+/-ボタンまたは数字ボタンでも調節ができます。
- 曲の演奏中にテンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在指定されている曲のおすすめのテンポに自動的に調節されます。
- いくつかのソングバンクの曲は、おすすめテンポで演奏しているときは、曲調に表情をつけるためにテンポが変わります。これらの曲ではテンポを調節すると、一定のテンポで演奏します。



曲を一時停止するには

曲の演奏中に演奏/一時停止ボタンを押すと、演奏が一時的に停止します。

- 1 曲の演奏中に演奏/一時停止ボタンを押します。
→曲の演奏が止まります。
- 2 もう一度演奏/一時停止ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏が再開されます。

NOTE

- スタート/ストップボタンで曲を止めた場合、演奏/一時停止ボタンを押すと、曲の頭から演奏を開始します。

曲を早戻しするには

現在演奏している位置から前の方向へ、1小節単位で移動させることができます。

- 1 曲の演奏中(または一時停止中)に、早戻しボタンを押し続けます。
→1小節単位で早戻しを始めます。
• 早戻し中の小節位置は、画面表示で確認することができます。

- 2 早戻しボタンを離すと、その位置から曲の演奏が始めます。

NOTE

- スタート/ストップボタンで曲を止めた場合は、自動的に冒頭に戻るため、早戻し操作が行えません。

曲を早送りするには

現在演奏している位置から後の方向へ、1小節単位で移動させることができます。

- 1 曲の演奏中(または一時停止中)に、早送りボタンを押し続けます。
→1小節単位で早送りを始めます。
• 早送り中の小節位置は画面表示で確認することができます。
- 2 早送りボタンを離すと、その位置から曲の演奏が始めます。

NOTE

- スタート/ストップボタンで曲を止めた場合は、自動的に冒頭に戻るため、早送りの操作が行えません。

フレーズを繰り返し聴くには

曲の演奏中に小節単位で、特定のフレーズ(区間)を繰り返し再生させることができます。

- 1 曲の再生中に、リピートの開始点にしたい小節でリピートボタンを押します。
→画面にリピートの開始点(小節)が表示され、リピート開始点(小節)が指定されます。
- 2 リピートの終点(折り返し点)にしたい小節で、再度リピートボタンを押します。
→画面にリピートの終点(小節)が表示され、リピートの終点が指定されます。リピート演奏が始まります。
• リピートを解除するには、再度リピートボタンを押します。

メロディーの音色を変えるには

本機には137種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。音色の変更はソングバンクの演奏中でも、一時停止中でも行えます。曲の演奏が始まった時には、その曲のおすすめの音色が設定されます。

- 1 ソングバンクの演奏中(または一時停止中)にトーンボタンを押します。
→画面表示が音色を選ぶ画面に切り替わります。

NOTE

- 早めの手順2に進んでください。何もしないと数秒後には元の画面に戻ります。

- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンで音色のグループを選び、[▲]/[▼]カーソルボタンで鳴らしたい音色を選びます。
• 戻るボタンを押すと、通常表示に戻ります。

NOTE

- 何もしないと数秒後には指定した音色が採用されて、元の画面に戻ります。
- 通常表示において、音色名が強調表示されている時には、+/-ボタンまたは数字ボタンを押して音色を呼び出すこともできます。通常表示で強調表示の場所を移動するには、[▲]/[▼]カーソルボタンを押します。

全曲(内蔵曲)を通して聴くには

内蔵曲を、すべて通して聴くことができます。

- 1 デモ演奏ボタンを押します。
→ソングバンクの最初から内蔵曲を通して自動演奏します。
- 2 デモ演奏ボタン、スタート/ストップボタン、戻るボタンのいずれかを押すと、自動演奏が停止します。

NOTE

- 全曲を通して聴いているときでも、ソングバンクボタンを押して別の曲に進むことができます。

曲を練習してみましょう (3ステップレッスン)

3ステップレッスンは、ソングバンクの曲を3つのステップに分けて練習していくための機能です。鍵盤1つでメロディーを演奏する簡単なステップ1から始まり、鍵盤の位置や指使いを覚えるステップ2を経て、最後のステップ3で普通の速さで曲が弾けるようになるまで、上達の進度に合わせたレッスンが行えます。

3ステップレッスンの内容は、次のようになります。

●ステップ1：弾くタイミングを覚えます
弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここでは光ガイドのタイミングに合わせて鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏でき、他のパートは次の鍵盤を弾くまで待ってくれます。音の高さは気にせずに、弾くタイミングのほうを覚えるようにしましょう。

●ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます
正確に鍵盤で弾くレッスンです。他のパートは次の鍵盤を弾くまで待ってくれますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

- (1) 鍵盤の光を追って、弾く鍵盤を覚える
- (2) 画面の手の表示を参考に、どの指で弾くのか(指使い)を覚える
- (3) 楽譜の読める方は、楽譜を見ながら弾いてみる
- (4) 慣れてきたら、鍵盤は「手の位置ガイド」にしてみる

●ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう
ステップ2で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえるべき鍵盤が光ガイドで示されますが、伴奏は待たず一定のテンポで進行します。

鍵盤の光ガイドについて

3ステップレッスンで自動伴奏の曲を選んでいるとき、鍵盤の光ガイドで音の高さ、長さが表示されます。

それぞれの見方は次のとおりです。

- 音の高さ 現在点灯している鍵盤が、押さえるべき鍵盤です。
- 音の長さ 鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さになります。
- 次の音 点滅している鍵盤が、次に押さえるべき鍵盤です。

NOTE

- 両手演奏の曲・自動伴奏の曲の左手のステップ1と2では、音の長さのガイドは行いません。点灯した鍵盤を押さえると同時に消灯し、次に押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 両手演奏の曲・自動伴奏の曲の左手のステップ3では、音の長さも光ガイドで示されます。この場合、点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。

手の位置ガイドについて

手の位置ガイドボタンを押すことによって、鍵盤の光ガイドが音符を追うモードから位置を追うモードに切り替わります。手の位置ガイドボタンを押すと、画面表示の右上にある手の位置ガイドマークが点灯します。隣り合う3つの鍵盤が光ることによって手の位置を示します。もう一度手の位置ガイドボタンを押すと、音符を追っていくモードに戻ります。

曲を練習してみましょう (3ステップレッスン)

パートの選択

ソングバンクの曲には、自動伴奏の曲と両手演奏の曲の2種類があります。

●自動伴奏の曲

自動伴奏の曲は、自動伴奏パートとメロディーパートからなります。3ステップレッスンでは、メロディーパート(右手)、自動伴奏パート(左手)、両手パートをそれぞれ練習することができます。パートを切り替えるにはそれぞれ右手ボタン、左手ボタンを押します。両手パートを選ぶには、右手ボタン、左手ボタンを同時に押します。

●両手演奏の曲

本体パネル上のソングバンクリストで、曲名の左側に丸印が付いている曲が、両手演奏の曲です。3ステップレッスンでは、右手、左手、両手パートをそれぞれ練習することができます。パートを切り替えるにはそれぞれ右手ボタン、左手ボタンを押します。両手パートを選ぶには、右手ボタン、左手ボタンを同時に押します。

3ステップレッスン中にできること

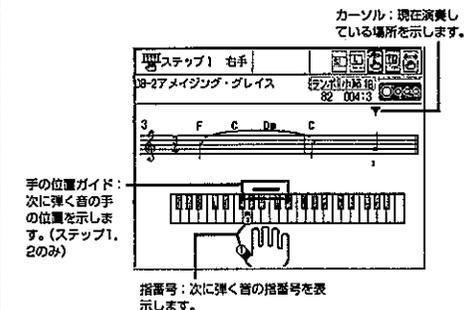
3ステップレッスン中、以下の操作が行えます。

- 音色の変更
- テンポの変更
- 伴奏/ソングの音量の調節
- リピート演奏
- メトロノーム再生(ステップ3のみ)

3ステップレッスンの画面表示について

3ステップレッスンでは、画面が通常表示モードの場合、ステップ1から3までのボタンを押しても、自動的に運指表示モードに切り替わります。

【運指表示モード】



- 画面表示は運指表示モードに切り替わって1段の楽譜とその下に鍵盤、手の結が表示されます。

レッスン中に運指表示モードボタンを押せば、通常表示画面にすることもできます。

楽譜表示モードが選ばれていた場合には、ステップボタンを押しても変わらずに楽譜表示のままです。運指表示モードから楽譜表示に変更するには、楽譜表示ボタンを押します。

【楽譜表示モード】



NOTE

- 右手ボタンや左手ボタンを押すことによって、右手の運指を見るか、左の運指を見るかを選ぶことができます。

**インターネット
楽譜配信サービス
のご案内**

Windows
95/98/Me/XP
対応

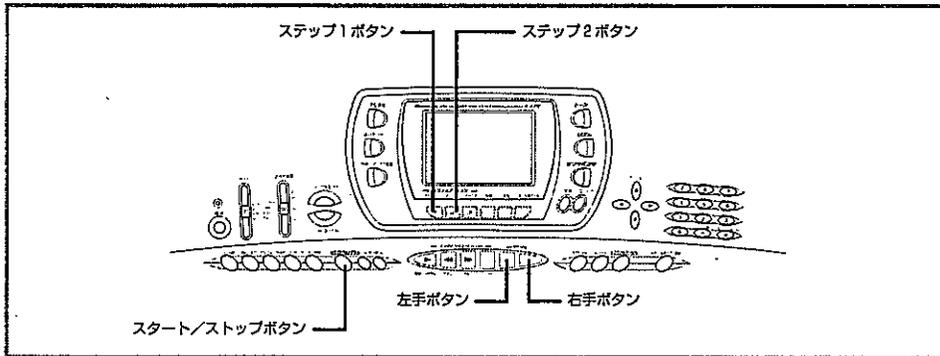
130円/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、歌謡曲
などの豊富なラインアップ！
新曲も続々登場！

<http://music.casio.co.jp/>

●●●「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます●●●

お好きな曲をレパートリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞つきの楽譜を表示、
印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて
曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

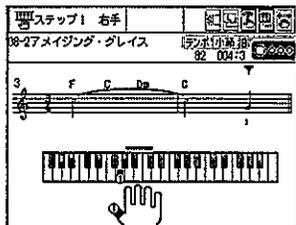
※本製品には、上記サービスを利用できる「インターネット楽譜ナビソフト」が同梱されています。



ステップ1：弾くタイミングを覚えます

鍵盤を押すタイミングを覚えるレッスンです。光ガイドの点灯にタイミングを合わせて、鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏ができます。押し間違いを気にせずに、まずはメロディー（右手パート）を覚え、次に左手パート、両手パートへと進んでみましょう。

- 1 レッスンするソングバンクの曲を選びます。
→28ページ「曲を選ぶには」を参照してください。
- 2 右手ボタンを押します。
- 3 ステップ1ボタンを押して、ステップ1のレッスンを開始します。
→カウントの後（イントロのある曲はイントロに続き）、最初のメロディー音の待機状態になります。



- 4 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、メロディー（右手パート）を演奏してみましょう。
●間違えて光ガイドとは別の鍵盤を押してしまっても、その高さとは関係なく正しいメロディー音が鳴ります。



- カウント中、およびイントロ演奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、鍵盤の光ガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏（または左手パート）は、次の鍵盤を押さえるまでは待っていてくれます。
- 続けて複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけメロディーが進行しますので注意してください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、1つしかメロディーは進みません。

- 5 レッスンを途中で止めるときには、スタート/ストップボタンを押します。

NOTE

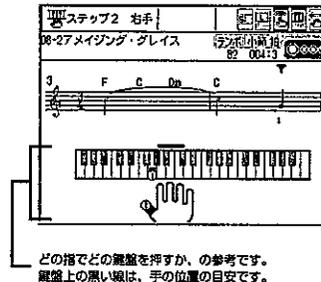
- ステップ1では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ1では、一時停止の操作ができます。再開するには、ステップ1ボタンを押してください。
- ステップ1ではリズム（打楽器）は鳴りません。

- 左手パートのレッスン
 - 手順2で、左手ボタンを押してください。
- 両手パートのレッスン
 - 通常表示か楽譜表示モードにします（運指表示モードでは練習できません）。
 - 手順2で、右手ボタンと左手ボタンを同時に押してください。

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます

正しい鍵盤を正しい指使いで弾くレッスンです。指使い（運指）を画面表示で確認しながら、光ガイドで示す通りに正しく弾いてみましょう。光ガイドは正しい鍵盤を弾くまで待っています。自分のペースで弾けるので、初めての人も両手で弾く練習まで進めます。まずはメロディー（右手パート）から始め、次に左手パート、両手パートへと進んでみましょう。

- 1 レッスンするソングバンクの曲を選びます。
→28ページ「曲を選ぶには」を参照してください。
- 2 右手ボタンを押します。
- 3 ステップ2ボタンを押して、ステップ2のレッスンを開始します。
→カウントの後（イントロのある曲はイントロに続き）、最初のメロディー音の待機状態になります。



- 4 鍵盤の光ガイドに合わせてメロディー（右手パート）を演奏してみましょう。光ガイドが示す鍵盤以外の鍵盤を弾くと、誤った音が鳴って、曲が進行しません。



- カウント中およびイントロ演奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、鍵盤の光ガイドは点滅から点灯に変わります。
- 両手演奏曲で複数の鍵盤が光っているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。

- 5 レッスンを途中で止めるときは、スタート/ストップボタンを押します。

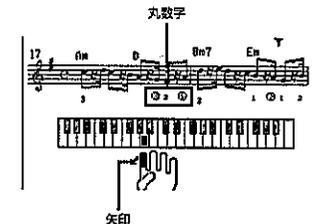
NOTE

- ステップ2では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ2では、一時停止の操作ができます。再開するには、ステップ2ボタンを押してください。
- ステップ2ではリズム（打楽器）は鳴りません。

- 左手パートのレッスン
 - 手順2で、左手ボタンを押してください。
- 両手パートのレッスン
 - 通常表示か楽譜表示モードにします（運指表示モードでは練習できません）。
 - 手順2で、右手ボタンと左手ボタンを同時に押してください。

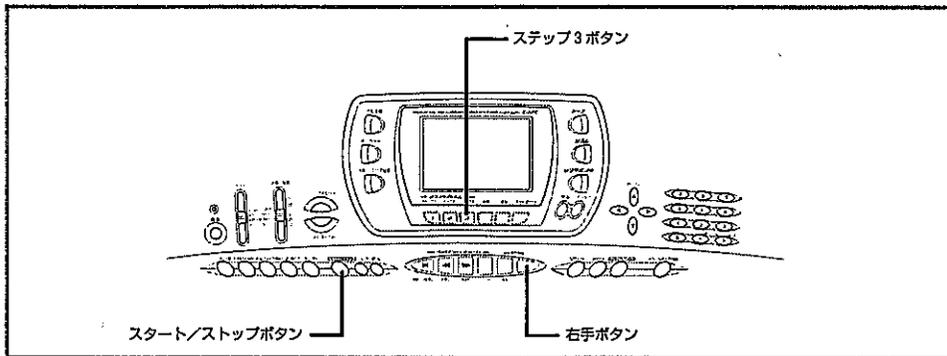
運指表示と指くぐり表示について

ソングバンク内の曲では、指使いと指くぐりの方向を表示します。表示を参考にして、指の押さえ方を覚えましょう。



- 丸数字の箇所は指が交差します。丸数字で示された指は、前の指をまたいだり、くぐらせたりして弾いてください。指の交差を矢印で表示しています。

曲を練習してみましょう (3ステップレッスン)



ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう

ステップ2で練習した曲を、普通の速さで弾くレッスンです。押さえる鍵盤は光ガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

- ① レッスンするソングバンクの曲を選びます。
→28ページ「曲を選ぶには」を参照してください。
- ② 右手ボタンを押します。
- ③ ステップ3ボタンを押して、ステップ3のレッスンを開始します。
→伴奏(左手パート)が普通の速さで演奏されます。
- ④ 鍵盤の光ガイドに合わせて、メロディー(右手パート)を演奏してみましょう。



- ⑤ レッスンを途中で止めるときには、スタート/ストップボタンを押します。

NOTE

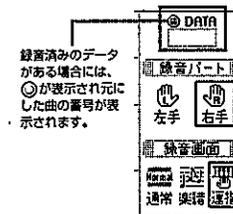
- ステップ3では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ3では、一時停止の操作ができます。再開するには、ステップ3ボタンを押してください。

- 左手パートのレッスン
 - 手順2で、左手ボタンを押してください。
- 両手パートのレッスン
 - 通常表示が楽譜表示モードにします(運指表示モードでは練習できません)。
 - 手順2で、右手ボタンと左手ボタンを同時に押してください。

演奏を録音してみましょう

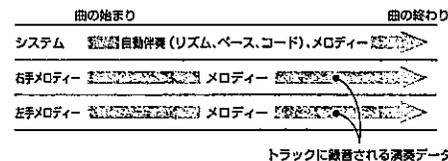
本機には、鍵盤の演奏を録音/再生するソングメモリー機能が装備されています。録音できるのは、通常の演奏や自動伴奏を用いたユーザーソングが2曲と、ソングバンクの曲を使ったレッスンソングが2曲の合計4曲です。特にレッスンソングでは、本機の3ステップレッスンでソングバンクの曲を練習した後に、その成果を録音して聞いてみるができます(ステップレッスン中は、録音できません)。テープレコーダーの感覚で鍵盤演奏をそのまま録音したり、さらに音を重ねて録音したり、録音したあとにテンポを変更して再生することも可能です。録音の方法は、鍵盤演奏をそのまま録音する「リアルタイム録音」です。

レッスンソングでは右手、左手、両手のいずれかのパートを録音できます。

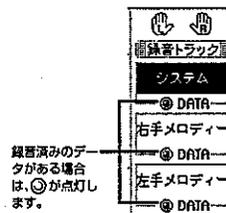


本機で録音できるソングデータとそのトラック (パート)

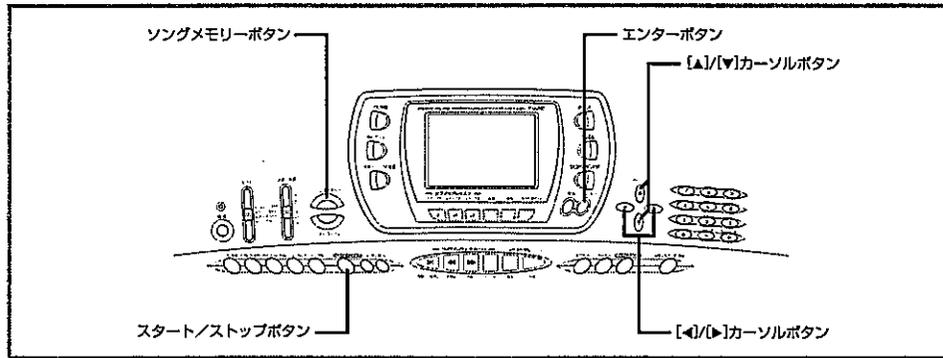
本機では、ユーザーソングとレッスンソングで録音できるトラック(パート)が異なります。



ユーザーソングではシステム(自動伴奏)、右手メロディー、左手メロディーの3トラック構成になっています。



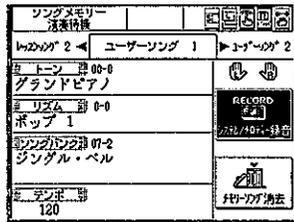
- それぞれのトラックは独立しているので、弾き間違えて録音してもそのトラックだけ録音し直すことができます。



ユーザーソングを録音してみましょう

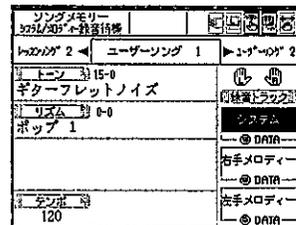
リアルタイム録音を使って、コード伴奏や鍵盤の演奏をそのまま録音してみましょう。

- 1 ソングメモリーボタンを押します。
→画面表示が変わって、ソングメモリー演奏待機状態になります。



- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、録音したいユーザーソングを選びます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「システム/メロディー録音」を強調表示にさせます。

- 4 エンターボタンを押すと、システム/メロディー録音待機状態になります。
→画面表示が変わって、どのトラックに録音するかが選択できるようになります。



- 5 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、システム(伴奏)、右手メロディー、左手メロディーの中から録音したいトラックを選びます。
 - メロディーを演奏する音色を指定します。
 - リズムを選び、テンポを調節します。
 - モードスイッチでコードの指定方法を選びます。
- 6 スタート/ストップボタンを押します。
→リアルタイム録音が開始されます。
- 7 鍵盤で演奏します。
 - システムトラックを選択した場合は、モードスイッチの設定に応じてコードを演奏します。
 - 右手メロディーを選択した場合は、右手のメロディーを演奏します。
 - 左手メロディーを選択した場合は、左手のメロディーを演奏します。

- 8 演奏が終わったら、スタート/ストップボタンで録音を終了します。
→終了すると同時に画面表示は、ソングメモリー演奏待機状態に戻ります。

NOTE

- 録音中に弾きまちがえたときは、手順1からやり直します。
- すでに録音したトラックに再度録音する場合、以前録音されたデータが消えて新しいデータが上書きされます。

システムトラックに記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外には、以下の内容がトラックに記録され、録音時のまま再生されます。

- 音色
- リズム
- テンポ
- レイヤー/スプリットのオン/オフ設定と、その音色
- スプリットポイント
- シンクロ待機状態
- イントロボタン、エンディングボタン、ノーマル/フィルインボタン、バリエーション/フィルインボタンの操作(ユーザーソングのみ)
- ペダル操作

システムトラックに録音する場合の応用例

- シンクロスタートで録音を始めるには
手順6の代わりにシンクロボタンを押します。
→伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。
- イントロやエンディング、フィルインを入れて録音するには
録音中はイントロボタン、エンディングボタン、ノーマル/フィルインボタン、バリエーション/フィルインボタンが使用できます。
- シンクロスタートでイントロから録音を始めるには
手順6の代わりに、シンクロボタンとイントロボタンを続けて押します。
→伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きのイントロと同時に録音がスタートします。

- 録音途中から自動伴奏をスタートさせるには
手順6の代わりにシンクロボタンを押し、メロディー鍵盤で演奏を始めます。
→伴奏なしでメロディーの録音を開始します。録音の途中で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏がスタートします。

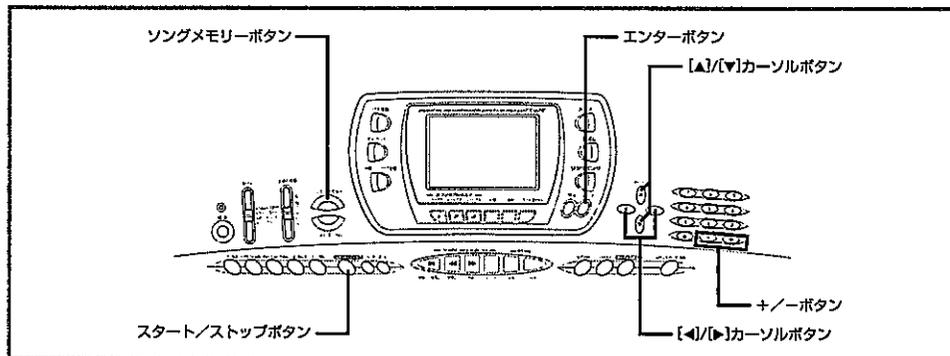
録音できる長さ(メモリー容量)

ソングメモリー機能で本機の中に録音できる音符は、4曲合わせて約5,200音符です。1曲で5,200音符を使いきってしまうと、2曲目は録音できません。

- 録音中に録音できる音符の残り数が約100音符以下になると、画面タイトルの右側部分に「MEMORY FULL」という文字が書かれたアイコンが点滅表示されます。
- 録音中にメモリー容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します(自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります)。

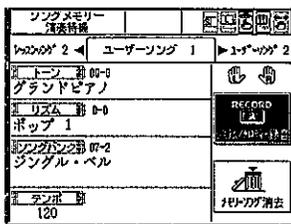
録音内容保持について

- 新しく録音した時点で、以前の録音内容は消えてしまいます。
- 電池やACアダプターで電源を供給している間は、電源をオフにしても録音内容が保持されます。
- 電池で利用しているときに電池を抜いたり、電池が消耗すると録音内容が消去されます。電池の交換は、ACアダプターを接続した状態で行うことをおすすめします。
- 録音中に電源が切れると、録音中のトラックの内容はすべて消去されます。



録音した内容を聴いてみましょう (ユーザーソング)

録音を止めた直後は、演奏待機状態になっています。本機がソングメモリー演奏待機状態かどうかは、画面表示で確認できます。



もしも本機が他のモードになっている場合は、ソングメモリーボタンを押してソングメモリー演奏待機の状態にし、[◀]/[▶]カーソルボタンで再生するユーザーソングを選びます。

- 1 スタート/ストップボタンを押します。
→録音された演奏内容を再生します。
●テンポボタンでテンポを調節することもできます。

NOTE

- ソングメモリー再生中にはモードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤がすべてメロディー鍵盤となり、録音した演奏に合わせて弾くことができます。このときスプリットやレイヤー機能を使用することもできません。
- ソングメモリーの再生では、一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。

右手メロディーパート (左手メロディーパート) の演奏を重ねて録音してみましょう

システムトラックに録音した伴奏に合わせ、右手メロディーパート (左手メロディーパート) を録音してみましょう。

- 1 ソングメモリーボタンを押してソングメモリー演奏待機モードにし、[◀]/[▶]カーソルボタンで重ねて録音するユーザーソングを選びます。
- 2 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「システム/メロディー録音」を強調表示させます。
- 3 エンターボタンを押すと、ソングメモリー録音待機状態になります。
→画面表示が変わって、どのトラックに録音するかが選択できるようになります。
- 4 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「右手メロディー (左手メロディー)」を強調表示させます。
- 5 スタート/ストップボタンを押します。
→リアルタイム録音が始まります。
- 6 すでに録音されているシステムトラックを聴きながら、右手メロディー (左手メロディー) を演奏します。
- 7 録音が終わったら、スタート/ストップボタンを押して録音を終了します。
●録音中に弾きまちがえたときは、手順1からやり直します。

NOTE

- 右手メロディーパートや左手メロディーパートはメロディー専用トラックのため、コード伴奏は録音できません。このため、右手メロディーパートや左手メロディーパートに録音するときは、モードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤はすべてメロディー鍵盤になります。

録音済みのメロディーパートをオフするには

録音済みのメロディーパートを演奏させないで、ほかのトラックを演奏したり録音することができます。

ソングメモリー演奏待機または録音待機の画面で、オフにしたいパート (右手、左手) に対応したボタンを押します。

→押したボタンに対応した画面の表示が反転します。

NOTE

- システムトラックはオフにできません。

右手メロディーパート、左手メロディーパートに録音される内容

鍵盤の演奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色
- ペダルの操作

ユーザーソングの特定のトラックの内容を消去するには

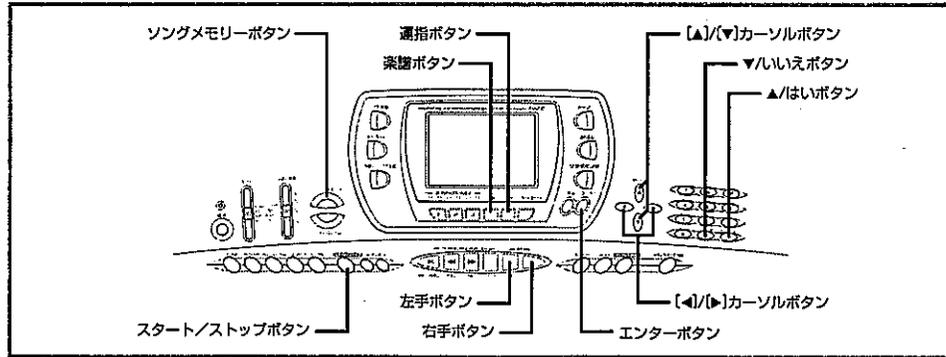
ユーザーソングで録音済みのトラックを、曲の最初から最後まで消去します。

- 1 ソングメモリーボタンを押します。
→画面表示が変わって、ソングメモリー演奏待機状態になります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、消去したいユーザーソングを選びます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「メモリーソング消去」を強調表示させます。
- 4 エンターボタンを押すと、消去するトラックの選択画面になります。
- 5 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「トラック消去」を強調表示させます。
- 6 +/−ボタンを押して、消去したいトラック (システム/右手メロディー/左手メロディー) を選びます。
- 7 エンターボタンを押します。
→画面上にトラックを消去してよいかを確認するメッセージが表示されます。消去してよい場合は、▲/はいボタンを押してください。消去が実行され、手順5の画面に戻ります。消去を中止したい場合は、▼/いいえボタンを押します。消去が中止され、手順5の画面に戻ります。

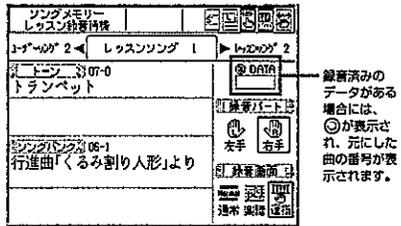
レッスンソングを録音してみましょう

ソングバンクの曲を選んで、自分が練習したパートを選択します。録音開始すると自分が選択したパート以外が演奏され、一方で鍵盤の光は自分が選択したパートをガイドしてくれます。それに合わせて選択したパートを弾いて録音することができます。録音後、再生してレッスンの成果を確認することができます。

録音中の演奏や鍵盤の光り方などは、3ステップレッスンの「ステップ3」と同じ動きになります。



- 1 ソングメモリーボタンを押します。
→ 画面表示が変わって、ソングメモリー演奏待機状態になります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、録音したいレッスンソングを選びます。
• レッスンソングが2曲用意されています。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「レッスン録音」を強調表示にさせます。
- 4 エンターボタンを押すと、レッスン録音待機になります。
→ 画面表示が変わって、録音パートとして右手か左手を選択できるようになります。また録音時の画面表示として、通常表示モードか楽譜表示モード、または選指表示モードを選択できるようになります。



- 5 録音するソングバンクの曲を選びます。
• 曲の選び方については、28ページの「曲を選ぶには」を参照してください。

- 6 右手ボタン、左手ボタンを押して録音するパートを選択します。
• 楽譜表示と通常表示モードでは、右手ボタンと左手ボタンを同時に押して両手パートを録音することができます。
- 7 楽譜ボタン、通指ボタンを使って、録音時の画面表示モードを選択します。通常表示画面にするには、現在選ばれている表示モードのボタンをもう一度押します。
- 8 スタート/ストップボタンを押します。
→ リアルタイム録音が開始されます。
- 9 鍵盤で演奏します。
- 10 演奏が終わったら、スタート/ストップボタンで録音を終了します。
→ 終了すると同時に画面表示は、ソングメモリー演奏待機状態に戻ります。

レッスンソングで録音される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色
- リズム (ダウンロード曲で、自動伴奏をもちいた楽譜データのみ)
- ソングバンク曲
- 録音パート
- 録音画面
- テンポ
- レイヤー/スプリットのオン/オフ設定と、その音色
- ペダル操作

録音した内容を聴いてみましょう (レッスンソング)

録音を止めた直後は、ソングメモリー演奏待機状態になっています。本機がソングメモリー演奏待機状態かどうかは画面表示で確認できます。

もしも本機が他のモードになっている場合は、ソングメモリーボタンを押して、ソングメモリー演奏待機の状態にし、[◀]/[▶]カーソルボタンで再生するレッスンソングを選びます。

- 1 スタート/ストップボタンを押します。
→ 録音された演奏内容を再生します。
• テンポボタンでテンポを調整することもできます。

NOTE

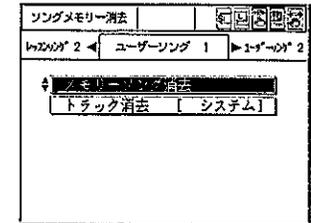
- ソングメモリー演奏待機中、再生中には伴奏鍵盤でのコード指定はできません。
- ソングメモリー演奏待機中のレイヤー、スプリットのオン、オフ設定にしたがって演奏されます。
- ソングメモリーの再生では、一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。

特定の曲を消去するには

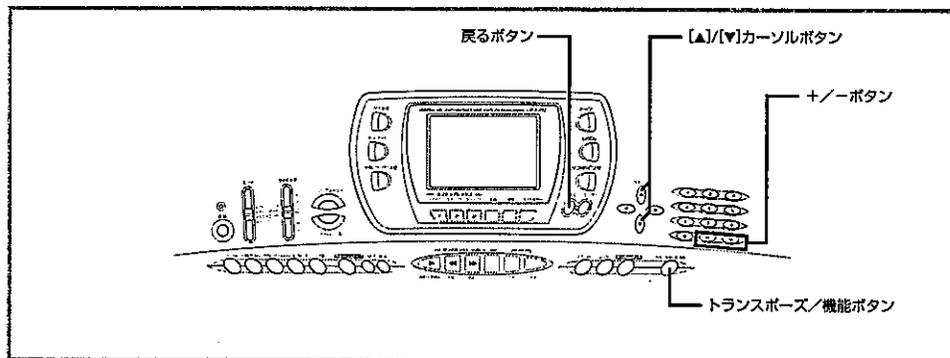
ユーザーソング、レッスンソングともに特定の曲を消去することができます。

- 1 ソングメモリーボタンを押します。
→ 画面表示が変わって、ソングメモリー演奏待機状態になります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、消去したいユーザーソング、またはレッスンソングを選びます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「メモリーソング消去」を強調表示にさせます。

- 4-1 エンターボタンを押すとソングメモリー消去の画面になります。



- レッスンソングを選んでいる場合は、「メモリーソング消去」のみが表示されています。
- 4-2 ユーザーソングを選んでいる場合は、[▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「メモリーソング消去」を選択します。
 - 5 エンターボタンを押します。
→ 画面上に消去してよいかを確認するメッセージが表示されます。消去してよい場合は、▲/はいボタンを押してください。消去が実行され、手順 4-1 の画面に戻ります。消去を中止したい場合は、▼/はいボタンを押します。消去が中止され、手順 4-1 の画面に戻ります。



本機では、鍵盤の演奏はそのままでも実際に発音される音の高さを変えることや、他の楽器とのアンサンブルにおいて、正確にチューニングを合わせることが出来ます。また本機は、単体で演奏を楽しむだけでなく、外部のシーケンサーやシンセサイザーなどと組み合わせて、市販のGM対応データを再生したり同時に演奏することが出来ます。その場合のMIDIの設定方法などもこの章で説明します。

トランスポーズ/機能ボタンの使い方

通常の状態からトランスポーズ/機能ボタンを押すと、MIDIを使うための様々な機能や、本機の設定項目を呼び出すことが出来ます。呼び出せる機能や項目はトランスポーズ/チューン/MIDI関係と設定関係に分かれていて、[▲]/[▼]カーソルボタンを使って選択します。またダウンロード曲消去を選ぶと、ダウンロードしたソングデータを消去することができます。

トランスポーズ/チューン/MIDI関係と設定関係の画面で表示されている機能は、[▲]/[▼]カーソルボタンを使って強調表示させて、+/-ボタンまたは数字ボタンを使って値を増減させます。この画面は何もしなくても、数秒後に通常の画面に戻ることはありません。通常の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのまま、簡単に音の高さを変えることができます。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。

トランスポーズ/機能		設定
トランスポーズ/機能	トランスポーズ/チューン/MIDI	[00]
トランスポーズ		[00]
キーオクターブシフト		[01]
ナビゲートチャンネル右		[04]
ナビゲートチャンネル左		[03]
キーボードチャンネル		[01]
MIDIインコードジャッジ		[オフ]
ローカルコントロール		[オン]
アンプMIDIアウト		[オフ]
GMシステム		[オン]

- 2 「トランスポーズ」が強調表示されていることを確認します。
- 3 +/-ボタンを押して、トランスポーズの量を設定します。

NOTE

- 数字ボタンを押して、量を指定することもできます。その場合は、必ず2桁で入力してください。例えば5半音上にトランスポーズさせる場合は「05」と入力します。
- マイナスの値は、数字ボタンで直接入力することはできません。-ボタンを数回押して設定してください。

- 4 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は、-12 (1オクターブ下) ~ +12 (1オクターブ上) です。
- 電源を入れ直したとき、ソングバンクの演奏、ステップレッスンでは、「00」になります。
- トランスポーズの設定は、ソングメモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微妙に調整する機能です。この機能を利用すると、チューニングが微妙に異なる他の楽器とアンサンブルを行う場合でも、相手の楽器のチューニングに合わせることが出来ます。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「チューン」を強調表示させます。

トランスポーズ/機能		設定
トランスポーズ/機能	トランスポーズ/チューン/MIDI	[00]
トランスポーズ		[00]
キーオクターブシフト		[01]
ナビゲートチャンネル右		[04]
ナビゲートチャンネル左		[03]
キーボードチャンネル		[01]
MIDIインコードジャッジ		[オフ]
ローカルコントロール		[オン]
アンプMIDIアウト		[オフ]
GMシステム		[オン]

- 3 +/-ボタンを押して、チューニングの量を設定します。

NOTE

- 数字ボタンを押して、量を指定することもできます。その場合は、必ず2桁で入力してください。例えば8上げる場合は「08」と入力します。
- マイナスの値は、数字ボタンで直接入力することはできません。-ボタンを数回押して設定してください。

- 4 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

NOTE

- チューニングの設定範囲は、-50~+50で、±50セントです。
※100セント=半音
- ソングバンクの演奏、ステップレッスンでは、「00」になります。
- チューニングの設定は、ソングメモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。

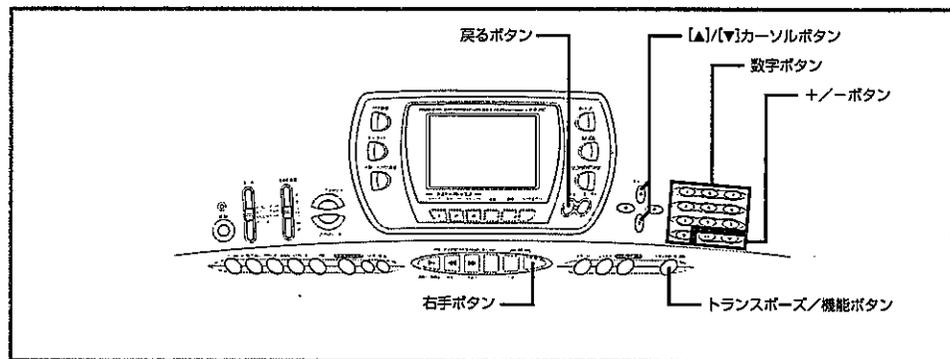
キーオクターブシフトの設定

キーオクターブシフトとは、演奏する鍵盤に対して、実際には1~2オクターブ高い、または低い音を発音させる機能です。ダウンロードした曲のメロディーが、メロディー鍵盤範囲をはみ出してしまう場合、この機能を使って本機の鍵盤内に収めて、3ステップレッスンができるようにすることができます。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「キーオクターブシフト」を強調表示させます。
- 3 +/-ボタンまたは数字ボタンを押して、キーオクターブシフトの量を設定します。
● 設定範囲は±2オクターブまでです。
- 4 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

NOTE

- 選んでいる曲を変更すると、キーオクターブシフトの設定は「0」に戻ります。



ナビゲートチャンネルの設定

ナビゲートチャンネルとは、MIDIメッセージを受信し本機で演奏したときに、音符情報を本機の鍵盤の光ガイドや画面で表示させるMIDIチャンネルのことです。ナビゲートチャンネルは、1～16のMIDIチャンネルの中から選びます。市販のMIDIデータの好きなパートを光ガイドで表示させて、練習するのに便利です。

- ① トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- ② [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「ナビゲートチャンネル右」、または「ナビゲートチャンネル左」を強調表示させます。
- ③ +/-ボタンまたは数字ボタンを押して、MIDIチャンネルを設定します。
●設定範囲は1～16チャンネルまでです。
- ④ 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

受信中のMIDIデータ再生中に任意の音をオフにするには

●ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルのオン/オフ

右手ボタンを押し、MIDIデータを再生します。
→ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの音は消えますが、鍵盤の光は送られてくるデータ通りに点灯します。オンにするには、もう一度右手ボタンを押します。

左手ボタンも同様に、設定されているチャンネルの音をオフにするために使用できます。

NOTE

- 受信中のMIDIデータの音量は、伴奏/ソングの音量ボタンで調節できます。

キーボードチャンネルの設定

キーボードチャンネルとは、キーボードのMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルのことです。キーボードチャンネルは、1～16のMIDIチャンネルの中から1つを指定します。

- ① トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- ② [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「キーボードチャンネル」を強調表示させます。
- ③ +/-ボタンまたは数字ボタンを押して、MIDIチャンネルを設定します。
●設定範囲は1～16チャンネルまでです。
- ④ 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

MIDIインコードジャッジ オン/オフの設定

MIDIイン端子を通じて外部から送られる音符情報を使って、本機のコードを指定したい場合に使用します。コンピュータなどの外部機器から、自動伴奏のコード進行をコントロールしたいときに便利です。

- MIDIインコードジャッジがオンの場合：
モードスイッチでコードの指定方法が選ばれているとき、MIDIイン端子から入力されたキーボードチャンネルのノート情報で、コードが指定できます。
- MIDIインコードジャッジがオフの場合：
MIDIインコードジャッジ機能が解除されます。

- ① トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- ② [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「MIDIインコードジャッジ」を強調表示させます。
- ③ +/-ボタンを押して、オン/オフを切り替えます。
- ④ 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

NOTE

- GMシステム(48ページ参照)をオンにすると、MIDIインコードジャッジはオフに設定されます。

ローカルコントロール オン/オフの設定

本機の鍵盤部分と音源部分を、内部で接続するかどうかを設定します。コンピュータなどの外部機器と本機のMIDIイン/アウト端子どうしを接続して演奏内容を外部機器に録音するときに、ローカルコントロールをオフにして、本機の鍵盤部分と音源部分を切り離した方が便利ことがあります。

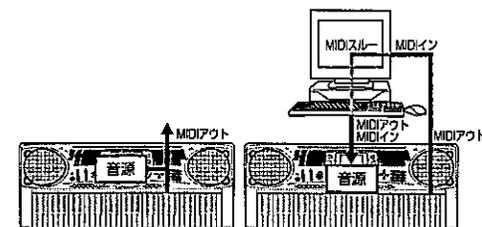
- ローカルコントロールがオンの場合：
鍵盤の演奏情報は本体の音源で発音し、同時にMIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られます。

- ローカルコントロールがオフの場合：
鍵盤による演奏情報は、MIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られますが、本体の音源は発音しません。コンピュータなどの外部機器側のMIDIスルー機能を利用するときには、オフにして使用してください。

NOTE

- 本機を単体でご使用になるときにローカルコントロールをオフにすると、鍵盤を弾いても音が出なくなりやすくなります。また、鍵盤も光らなくなります。

- ① トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- ② [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「ローカルコントロール」を強調表示させます。
- ③ +/-ボタンを押して、オン/オフを切り替えます。
- ④ 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

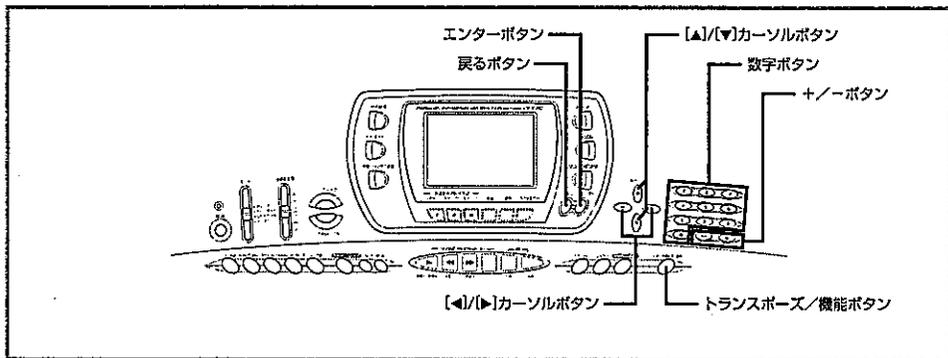


★ローカルオンの状態
鍵盤の演奏は本体内の音源で鳴らし、同時にMIDIアウト端子からもMIDIメッセージを送ります。

★ローカルオフの状態
鍵盤の演奏はMIDIアウト端子からMIDIメッセージとして送られますが、本体内の音源は直接鳴らしません。MIDIメッセージを受信したコンピュータ側のMIDIスルーを利用することで、本体内の音源にMIDIメッセージが送り返され音が鳴ります。

NOTE

- ソングバンク曲の再生やステップレッソンを開始すると、ローカルコントロールは自動的にオンになります。



スプリットポイントの設定

スプリット機能を使った時の低域と高域の境目を設定することができます。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、設定グループを表示させます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「スプリットポイント」を強調表示させます。
- 4 +/−ボタンを押して、スプリットポイントを切り替えます。
●鍵盤を直接押して、スプリットポイントを設定することもできます。押したところが、メロディー鍵盤の最低音になります。
- 5 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

サウンドレンジシフトの設定

特定の音色に対して、鍵盤演奏時の音を1オクターブずらします。音色については、「音色別発音域表」(60ページ)を参照してください。

- サウンドレンジシフトがオンの場合：
“低域楽器”は1オクターブ低く、“09-0ピッコロ”は1オクターブ高く発音されます。
- サウンドレンジシフトがオフの場合：
“低域楽器”、“09-0ピッコロ”が通常通り発音されます。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、設定グループを表示させます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「サウンドレンジシフト」を強調表示させます。
- 4 +/−ボタンを押して、オン/オフを切り替えます。
- 5 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ディスプレイホールドの設定

本機では、トランスポーズ/機能ボタン以外のボタンを押して、画面表示が切り替わった場合、数秒後は元の画面表示に戻るようになっています。しかし、落ちついてゆっくりと操作したい時は、必ずしも自動で戻らないほうがよい場合もあります。
ここではディスプレイホールド(画面表示状態の維持)のオン/オフの切り替え方を説明します。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、設定グループを表示させます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「ディスプレイホールド」を強調表示させます。
- 4 +/−ボタンを押して、ディスプレイホールドのオン/オフを切り替えます。
→オンに設定すると、画面表示は戻るボタンを押すまでは表示状態を保ちます。
- 5 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

画面コントラストの設定

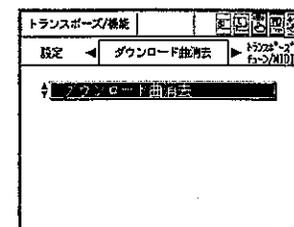
液晶画面は、見る角度(視野角といいますが)によって見やすさが異なります。座って演奏する場合と、立って演奏する場合では、画面のコントラストが変わって見づらい場合があります。そのような時は以下の方法で、画面コントラストを調節してください。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、設定グループを表示させます。
- 3 [▲]/[▼]カーソルボタンを押して、「コントラスト」を強調表示させます。
- 4 +/−ボタンまたは数字ボタンを押して、コントラストの数値を見やすい濃さに変更します。
→標準の設定は「8」です。
- 5 設定が終わったら、戻るボタンまたはトランスポーズ/機能ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ダウンロードした曲を消去するには

本機へダウンロードした曲をここで消去します。

- 1 トランスポーズ/機能ボタンを押します。
→画面表示が切り替わります。
- 2 [◀]/[▶]カーソルボタンを押して、「ダウンロード曲消去」を表示させます。



- 3 エンターボタンを押します。
→画面上に、消去してよいかを確認するメッセージが表示されます。消去してよい場合は、▲/はいボタンを押してください。消去が実行され、手順2の画面に戻ります。消去を中止したい場合は、▼/いいえボタンを押します。消去が中止され、手順2の画面に戻ります。

MIDIについて

MIDI (ミディ) は、Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器どうし、あるいは電子楽器とコンピュータ機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。たとえメーカーや機種が違っても、MIDI対応の機器どうしであれば、「鍵盤を弾いた/離れた」「音色を切り替えた」といった情報 (これらをメッセージと呼びます) を相手に伝えることができます。

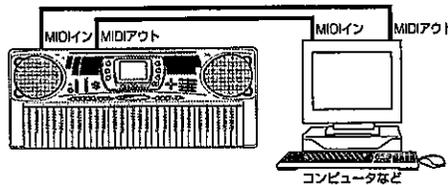
本機を単体で使用する場合は、特にMIDIの知識がなくても十分楽しめますが、コンピュータなどの外部機器と組み合わせで使用する場合は、MIDIについて最小限知っておくと便利です。

ここではMIDIの仕組みやメッセージの種類について簡単に説明しておきましょう。

MIDIの接続について

MIDIのメッセージは、ある機器のMIDIアウト端子から他の機器のMIDIイン端子へと、MIDIケーブルを通じて一方通行で送られます。例えば本機から外部機器へとメッセージを送るには、本機のMIDIアウト端子と外部機器のMIDIイン端子をMIDIケーブルで接続します。逆に外部機器から本機へメッセージを送るには、本機のMIDIイン端子と外部機器のMIDIアウト端子を接続します。

コンピュータなどの外部機器に本機の演奏内容を録音/再生する場合は、お互いのMIDIイン/アウトどうしを接続して、双方向でMIDIメッセージのやり取りができるようにします。



重要

- このとき、コンピュータやシーケンサー (自動演奏装置) でMIDIスルー機能 (MIDIインで受信した情報をそのままMIDIアウトに出力する機能) を利用する場合は、本機のローカルコントロールをオフにしてください (47ページ参照)。

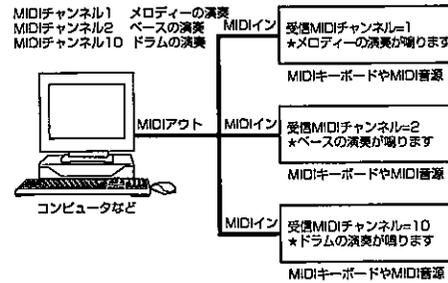
NOTE

- 受信中のMIDIデータの音量は、伴奏/ソングの音量ボタンで調節できます。

MIDIチャンネルについて

MIDIを使って情報をやり取りするとき、同時に複数のパートの演奏情報を送ることができます。それぞれのパートを区別するのが「MIDIチャンネル」と呼ばれる情報です。MIDIチャンネルには1~16までの16チャンネルがあり、MIDIでやり取りする演奏情報 (鍵盤を弾く、ペダルを踏むなどの情報) には、必ずこのMIDIチャンネルの情報が含まれています。

例えばご家庭のテレビでは、チャンネルを選ぶことで、1本のアンテナが受信した複数の電波の中から、特定の電波のみ画面に映し出します。同じようにMIDIチャンネルの場合も、受け側でMIDIチャンネルを設定することで、送り側のMIDIチャンネルと一致した演奏情報のみ受け側が発音します。例えば受け側がMIDIチャンネル2に設定されている場合、MIDIチャンネル2の演奏情報のみを受信して、他のMIDIチャンネルの演奏情報は無視します。



本機では16のMIDIチャンネルすべてのメッセージを受信できるので、チャンネルごとの音色や音量を個別に設定したり、最高16楽器パートを演奏することもできます (これをマルチティンバー機能と呼びます)。逆に本機の鍵盤やペダルの操作を外部に送信する場合は、MIDIチャンネル1~16の中からチャンネルを1つ選んで送信します。

GMについて

MIDIを使えば、メーカーや機種が異なる機器どうしでも演奏情報や音色番号などをやり取りできることは、すでに説明しました。ところが、MIDIで送られる演奏情報とは、音そのものではなく、鍵盤を押した/離れた、何番の音色を選んだという情報に過ぎません。

例えばA社のキーボードでは1番の音色がピアノなのに、B社のキーボードでは1番の音色がベースだった場合、せっかく演奏情報を送っても全く別の演奏になってしまいます。また、コンピュータやシーケンサーなど自動演奏機能を持つ機器を使ってA社のキーボード用に16パート (16チャンネル) の自動演奏データを作っても、B社のキーボードが10パート (10チャンネル) までしか受信できなければ、演奏できないパートが出てきてしまいます。

そこで、音色の並び順やパート数など演奏に必要な最小限の仕組みについてはある程度共通化できるように、各メーカーの話し合いで決められた推奨規格がGM (General MIDI) と呼ばれるものです。

GMの規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能なMIDIチャンネル数など、音源部分の仕組みについて決められています。このため、GM音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。

本機の音源部分はGM規格に対応していますので、市販のGM対応データやパソコン通信などで流通しているGM対応データを、コンピュータなどの外部機器と接続することで再生することができます。

本機で送受信可能なメッセージ

MIDIの規格では、さまざまなメッセージが決められています。ここでは本機が送受信できるメッセージについて説明します。

なお、(*)印のついたメッセージは、本機全体に対して動くメッセージ、それ以外は特定のチャンネルに対して動くメッセージです。

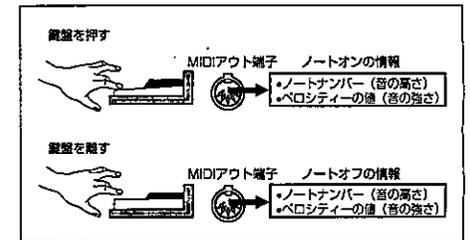
●ノートオン/オフ

キーボードを弾いた (ノートオン)、離れた (ノートオフ) という情報を送るためのメッセージです。ノートオン/オフのメッセージには、

- ノートナンバー キーボードでどの音を弾いたか/離れたかを表す情報
- ペロシティー 鍵盤を弾いた強さを1~127の数値で表した情報

が含まれます。通常ノートオンのペロシティーは、音の強弱を付けるのに使われます。

なお、本機はノートオフのペロシティーは受信しません。本機のキーボードを弾いたり離したりしたときには、MIDIアウト端子からノートオン/オフのメッセージが出力されます。



NOTE

- 出る音の高さは、音色によって異なります (60ページ「音色別発音域表」参照)。本機の受信したノートナンバーが、その音色の発音域より高いか低いときは、同じ音名で一番近い発音域内の音 (オクターブ違いの音) に置き換えて発音します。

●プログラムチェンジ

音色を選ぶためのメッセージです。プログラムチェンジには、0~127の音色情報が含まれています。本機のパネル上で音色番号を選ぶと、同時にMIDIアウト端子からプログラムチェンジのメッセージが出力されます。同じように外部機器からプログラムチェンジ情報を送ることで、本機の音色を変えることができます。

NOTE

- 0~127はドラムセット以外の本機の128音色に対応しています。チャンネル10だけはドラム音色専用チャンネルで、0、8、16、24、25、32、40、48、62が本機のドラムセット9音色に対応しています。

●ピッチベンド

演奏中にピッチ（音の高さ）を滑らかに上下させるためのメッセージです。本機では、ピッチベンド情報は送信しませんが、受信は可能です。

●コントロールチェンジ

演奏中の音に、ピッチやボリューム変化などの効果を加えるためのメッセージです。それぞれのコントロールチェンジには、

- コントロールナンバー... 効果の種類を区別する番号
- コントロール値..... 効果の深さ、オン/オフの設定

という情報が含まれています。本機は次のコントロールチェンジを送受信可能です。

本機が送受信可能なコントロールチェンジ/コントロールナンバー

コントロールチェンジ	コントロールナンバー
バンクセレクト*1	0、32
★モジュレーション	1
★ボリューム	7
★パン	10
★エクスプレッション	11
ホールド1	64
ソステヌート	66
ソフトペダル	67
RPN*2	100/101
データエントリー	6/38

★印のメッセージは受信のみです。

※1 外部MIDI機器から本機の音色を選ぶ場合、プログラムチェンジ情報にバンクセレクトを組み合わせて、137種類すべての音色を選ぶことができます。137種類の音色は、次の4つのバンクに分かれています。

- バンク0 : GM128音色 (プログラムチェンジ0~127)
- バンク127 : ドラムセット9音色 (プログラムチェンジ0、8、16、24、25、32、40、48、62)

プログラムチェンジ情報の直前に、「コントロールナンバー=0・コントロール値=バンクナンバー」と「コントロールナンバー=32・コントロール値=0」を連続して送信することで、指定したバンクの音色が選ばれます。

例：音色番号16-1（リムセット）を外部MIDI機器から選ぶ場合は、

コントロールナンバー=0・コントロール値=127 (バンクナンバー)
コントロールナンバー=32・コントロール値=0
プログラムチェンジ=8

を続けて送信します。

※2 RPN (Registered Parameter Number) は、複数のコントロールチェンジを組み合わせて使用する特殊なコントロールチェンジです。コントロールナンバー100と101のコントロール値でコントロールする要素を選び、データエントリー（コントロールナンバー6/38）のコントロール値で値を設定します。本機では、外部MIDI機器から本機のピッチベンドセンス（ピッチベンドデータによる音高の変化幅）、コースチューン（音の高さを半音単位で調節する機能）、ファインチューン（音の高さを微調整する機能）をコントロールするのにRPNを使用します。

NOTE

- フットペダルによるサステイン/ソステヌート/ソフトの効果も送受信されます（コントロールナンバー64、66、67）。

●オールサウンドオフ

そのチャンネルで現在鳴っている音を、すべて強制的に消音するメッセージです。

●オールノートオフ

そのチャンネルでノートオン情報で持続させている音を、すべて消音するメッセージです。

※サステインペダルやソステヌートペダルを使って持続させている音は、ペダルをオフにするまで発音を続けます。

●リセットオールコントローラー

ピッチベンドや各種のコントロールチェンジを初期状態に戻すメッセージです。

●システムエクスクルーシブ (*)

システムエクスクルーシブとは、音色の細かい設定などその機種固有の機能をコントロールするのに使用するメッセージです。本来システムエクスクルーシブは特定の機種に対してのみ有効ですが、メーカーや機種が変わっても共通に使える、ユニバーサルシステムエクスクルーシブと呼ばれるメッセージもあります。本機は、次のエクスクルーシブメッセージに対応しています。

- GMシステムオン ([F0][7E][7F][09][01][F7])
外部MIDI機器から本機を、GMシステムオンの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

※GMシステムオンは他のメッセージよりも処理時間がかかります。このためシーケンサーにGMシステムオンを記録する場合は、次のメッセージまで50msec以上間隔をあけるようにしてください。

- GMシステムオフ ([F0][7E][7F][09][02][F7])
外部MIDI機器から本機を、GMシステムオフの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

パソコンでダウンロードした楽譜データを使うには

CASIOインターネット楽譜配信サービスを利用することによって、本機に内蔵していない曲でも、3ステップレッスンで練習することができます。人気のJ-POPやアニメ、歌謡曲などの豊富なラインアップを用意しており、新曲も追加されています。気になっていた曲も楽譜を見ながら練習できます。楽譜データを購入するには、インターネット楽譜ナビソフトを付属のCD-ROMからインストールする必要があります。

●操作の流れ

- 1 付属のCD-ROMから、インターネット楽譜ナビソフトをインストールします。
- 2 インターネット楽譜ナビソフトを使用して楽譜データを購入(ダウンロード)します(1曲130円から)。
- 3 パソコンと本機を接続します。
- 4 インターネット楽譜ナビソフトで購入(ダウンロード)した楽譜データを本機に送信します。

- 5 3ステップレッスンで練習したり(32ページ参照)、ソングバンクモードで聴いたりできます(28ページ参照)。

●必要なハードウェア、ソフトウェア

- Windows/パソコンが必要です。Macintoshではダウンロードできません。
- 対応OSは Windows95/98/Me/XPのみです。
- 本機との接続は、市販のサウンドプラス用ジョイスティックMIDI変換ケーブルをご使用ください。
- ジョイスティック端子がないパソコンでも、付属のUSB対応MIDIインターフェイスを使用することにより、キーボードと接続することができます。ご使用の際は動作条件などをご確認ください。

●詳細は

インターネット楽譜ナビソフトのインストール手順や使い方、楽譜データ購入の手順、本機との接続などの最新情報は <http://music.casio.co.jp/> をご覧ください。

**インターネット
楽譜配信サービス
のご案内**

Windows®
95/98/Me/XP
対応

130円/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、歌謡曲
などの豊富なラインアップ！
新曲も続々登場！

<http://music.casio.co.jp/>

●●●「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます●●●

お好きな曲をレパトリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞付きの楽譜を表示。
印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて
曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

※本製品には、上記サービスを利用できる「インターネット楽譜ナビソフト」が同梱されています。

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 電源が正しくセットされていない。 電源が入っていない。 音量が下がっている。 モードスイッチが「カシオコード」や「フィンガード」の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 ローカルコントロールがオフになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 電源ボタンを押す。 全体の音量スライダーを上げる。 モードスイッチを「ノーマル」の位置に合わせる。 トランスポーズ/機能ボタンから、ローカルコントロールをオンにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 11ページ ☞ 16ページ ☞ 16ページ ☞ 16ページ ☞ 47ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。 <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが暗くなった。 電源が入らなくなった。 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 大きな音を出すと時々音が途切れる。 大きな音を出すと突然電源が切れる。 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 指定の音色とは異なる音を発音する。 リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。 鍵盤の光が発音時に暗くなる。 マイクの音量が小さくなった。 マイクの音量が劣化した。 マイクを使うと電源ランプが暗くなる。 マイクを使うと電源が切れる。 パソコン、MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。 	電池が消費している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	☞ 11ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量が「000」になっている。	伴奏/ソングの音量ボタンで伴奏の音量を上げる。	☞ 27ページ
鍵盤を強く弾くことで音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	タッチレスポンスボタンを押してオンの状態にする。	☞ 19ページ

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても光らない。	<ol style="list-style-type: none"> キーライトがオフになっている。 ローカルコントロールがオフになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> キーライトボタンでキーライトをオンにする。 トランスポーズ/機能ボタンでローカルコントロールをオンにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 19ページ ☞ 47ページ
鍵盤が点灯したままになっている。	ステップ1または2で正しい鍵盤が押されているのを待っている状態。	<ol style="list-style-type: none"> 点灯している鍵盤を押して、ステップ1または2での演奏を続ける。 スタート/ストップボタンでステップ1または2での演奏を中止する。 	☞ 34, 35ページ
音が出ないのに鍵盤が点灯する。	電源切り忘れのお知らせ機能が動いている。	各ボタンや鍵盤を押すと、電源オン直後の状態に戻る。	☞ 12ページ
他のMIDI楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が「00」以外になっている。	トランスポーズ/機能ボタンでトランスポーズとチューニングの設定を「00」にする。	☞ 44, 45ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックに右手メロディーまたは左手メロディーを指定している。	録音待機の状態から[▲]/[▼]カーソルボタンでシステムを選ぶ。	☞ 38ページ
コンピュータでGM対応データを再生すると、再生された音と、そのとき光った鍵盤を押したときに、発音される音がずれている。	サウンドレンジシフトがあっていない。	トランスポーズ/機能ボタンで、サウンドレンジシフトを設定しなおす。	☞ 50ページ
コンピュータとMIDI接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	コンピュータ側のMIDIスルー機能がオンになっている。	コンピュータ側のMIDIスルー機能をオフにするか、本機のトランスポーズ/機能ボタンでローカルコントロールをオフにする。	☞ 47ページ
コード伴奏の演奏情報をコンピュータに録音できない。	ア坎ブMIDIアウトがオフになっている。	トランスポーズ/機能ボタンでア坎ブMIDIアウトをオンにする。	☞ 48ページ
自動伴奏やMIDIデータの音が鳴らない。	伴奏/ソングの音量の設定値が下がっている。	伴奏/ソングの音量ボタンで、設定値を大きくする。	☞ 27, 52ページ
マイクを使っているときに雑音が入る。	指定以外のマイクを使用している。	全体が金属シールドされたキャノン型マイクを使用する。	☞ 15ページ
マイクの音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> マイクボリュームが絞られている。 マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチがオフ(OFF)になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> マイクボリュームを上げる。 マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチをオン(ON)にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 15ページ ☞ 15ページ
マイクを使っているときに雑音が入る。	蛍光灯などのノイズ源が近くにある。	ノイズ源からマイクを離す。	☞ 15ページ

トーンリスト

音色グループ名	
音色番号	音色名
00 ピアノ	
00-0	グランドピアノ
00-1	ブライトピアノ
00-2	エレクトリックグランドピアノ
00-3	ホンキートンク
00-4	エレクトリックピアノ 1
00-5	エレクトリックピアノ 2
00-6	ハーブシコード
00-7	クラビ
01 クロマチックパーカッション	
01-0	チェレスタ
01-1	グロッケンシュビール
01-2	ミュージックボックス
01-3	ビブラフォン
01-4	マリンバ
01-5	シロフォン
01-6	チューブラーベル
01-7	ダルシマー
02 オルガン	
02-0	ドローバーオルガン
02-1	パーカッシブオルガン
02-2	ロックオルガン
02-3	チャーチオルガン
02-4	リードオルガン
02-5	アコーディオン
02-6	ハーモニカ
02-7	バンドネオン
03 ギター	
03-0	ナイロンストリングスギター
03-1	スチールストリングスギター
03-2	ジャズギター
03-3	クリーンギター
03-4	ミュートギター
03-5	オーバードライブギター
03-6	ディストーションギター
03-7	ギターハーモニクス

音色グループ名	
音色番号	音色名
04 ベース	
04-0	アコースティックベース
04-1	エレクトリックベース 1
04-2	エレクトリックベース 2
04-3	フレットレスベース
04-4	スラップベース 1
04-5	スラップベース 2
04-6	シンセベース 1
04-7	シンセベース 2
05 スtrings/オーケストラ	
05-0	バイオリン
05-1	ビオラ
05-2	チェロ
05-3	コントラバス
05-4	トレモロストリングス
05-5	ピチカート
05-6	ハーブ
05-7	ティンパニ
06 アンサンブル	
06-0	ストリングス 1
06-1	ストリングス 2
06-2	シンセストリングス 1
06-3	シンセストリングス 2
06-4	クワイア
06-5	ボイス
06-6	シンセボイス
06-7	オーケストラヒット
07 プラス	
07-0	トランペット
07-1	トロンボーン
07-2	チューバ
07-3	ミュートトランペット
07-4	フレンチホルン
07-5	プラス
07-6	シンセプラス 1
07-7	シンセプラス 2

音色グループ名	
音色番号	音色名
08 リード	
08-0	ソプラノサクセス
08-1	アルトサクセス
08-2	テナーサクセス
08-3	バリトンサクセス
08-4	オーボエ
08-5	イングリッシュホルン
08-6	バスーン
08-7	クラリネット
09 バイブ	
09-0	ピッコロ
09-1	フルート
09-2	リコーダー
09-3	パンフルート
09-4	ボトルブロー
09-5	尺八
09-6	ホイッスル
09-7	オカリナ
10 シンセリード	
10-0	スクエアウェーブ
10-1	ソートウースウェーブ
10-2	カリオベ
10-3	チフリード
10-4	チャラン
10-5	ボイスリード
10-6	フィフスリード
10-7	ベース+リード
11 シンセパッド	
11-0	ニューエイジ
11-1	ウォームパッド
11-2	ポリシンセ
11-3	スペースクワイア
11-4	ボウグラス
11-5	メタリックパッド
11-6	ヘイロパッド
11-7	スイープパッド
12 シンセSFX	
12-0	レインドロップ
12-1	サウンドトラック
12-2	クリスタル
12-3	アトモスフィア
12-4	ブライトネス
12-5	ゴブリン
12-6	エコー
12-7	サイエンスフィクション

音色グループ名	
音色番号	音色名
13 エスニック	
13-0	シタール
13-1	バンジョー
13-2	三味線
13-3	琴
13-4	カリンバ
13-5	バグパイプ
13-6	フィドル
13-7	シャナイ
14 パーカッシブ	
14-0	ティンクルベル
14-1	アゴゴ
14-2	スチールドラム
14-3	ウッドブロック
14-4	太鼓
14-5	メロディックタム
14-6	シンセドラム
14-7	リバーズシンバル
15 サウンドエフェクト	
15-0	ギターフレットノイズ
15-1	ブレスノイズ
15-2	シーショア
15-3	バード
15-4	テレホン
15-5	ヘリコプター
15-6	アブロース
15-7	ガンショット
16 ドラムセット	
16-0	スタンダードセット
16-1	ルームセット
16-2	パワーセット
16-3	エレクトロニックセット
16-4	シンセセット
16-5	ジャズセット
16-6	ブラシセット
16-7	オーケストラセット
16-8	ボイスセット

音色別発音域表

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
00-0	グランドピアノ	000	24	A	A0-C8
00-1	ブライトピアノ	001	24	A	A0-C8
00-2	エレクトリックピアノ1	002	12	A	A0-C8
00-3	ホンキートンク	003	12	A	A0-C8
00-4	エレクトリックピアノ2	004	24	A	E1-G7
00-5	エレクトリックピアノ2	005	24	A	E1-G7
00-6	ハーブシノード	006	24	A	F2-F6
00-7	クラビ	007	24	A	C2-C7
01-0	チェレスタ	008	24	A	C4-C8
01-1	グロッケンシュピール	009	24	A	C5-C9

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
03-6	ディストーションギター	030	24	A	E2-D6
03-7	ギターハーモニクス	031	24	A	E2-D6
04-0	アコースティックベース	032	24	B	E1-G3
04-1	エレクトリックベース1	033	24	B	E1-G3
04-2	エレクトリックベース2	034	24	B	E1-G3
04-3	フレットレスベース	035	24	B	E1-G3
04-4	スラップベース1	036	24	B	E1-G3
04-5	スラップベース2	037	24	B	E1-G3
04-6	シンセベース1	038	24	B	E1-G3
04-7	シンセベース2	039	24	B	E1-G3

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
07-4	フレンチホルン	060	12	A	F2-F5
07-5	トラス	061	24	A	C2-C7
07-6	シンセトラス1	062	12	A	C2-C7
07-7	シンセトラス2	063	12	A	C2-C7
08-0	ソプラノサクソ	064	24	A	F3-G6
08-1	アルトサクソ	065	24	A	G3-A6
08-2	テナーサクソ	066	24	A	F2-D6
08-3	バリトンサクソ	067	24	B	G2-G4
08-4	オーボエ	068	24	A	A3-A6
08-5	イングリッシュホルン	069	24	A	E3-A6

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
11-2	ポリシンセ	090	12	A	C2-C7
11-3	スペースクワイア	091	12	A	C2-C7
11-4	ボウグラス	092	12	A	C2-C7
11-5	メタリックパッド	093	12	A	C2-C7
11-6	ヘイロパッド	094	12	A	C2-C7
11-7	スイーパーパッド	095	12	A	C2-C7
12-0	レインドロップ	096	12	A	C2-C7
12-1	サウンドトラック	097	12	A	C2-C7
12-2	クリスタル	098	12	A	C2-C7
12-3	アトモスフィア	099	12	A	C2-C7

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
15-0	ギターフレットノイズ	*120	24	D	C4-C5
15-1	ブレスノイズ	*121	24	A	C4-C5
15-2	シーショア	*122	12	D	C4-C5
15-3	バード	*123	24	D	C4-C5
15-4	テレホン	*124	24	D	C4-C5
15-5	ヘリコプター	*125	24	D	C4-C5
15-6	アプローズ	*126	12	D	C4-C5
15-7	ガンショット	*127	24	D	C4-C5

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
01-2	ミュージックボックス	010	12	A	C4-C5
01-3	ピッコポ	011	24	A	F3-F6
01-4	マリリンバ	012	24	A	C3-C8
01-5	シロフォン	013	24	A	F4-C7
01-6	チューブラーベル	014	24	A	C4-F5
01-7	ダルシマー	015	12	A	C4-C8
02-0	ドロワーオルガン	016	12	A	C2-C7
02-1	パーカッションオルガン	017	12	A	C2-C7
02-2	ロックオルガン	018	12	A	C2-C7
02-3	チャーチオルガン	019	12	A	A0-C8

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
05-0	バイオリン	040	24	A	G3-C7
05-1	ビオラ	041	24	A	C3-C6
05-2	チェロ	042	24	A	C2-C5
05-3	コントラバス	043	24	B	E1-G3
05-4	トルネードストリングス	044	24	A	E1-G7
05-5	ピチカート	045	24	A	E1-G7
05-6	ハーブ	046	24	A	B0-G7
05-7	ティンパニ	047	24	B	C2-A3
06-0	ストリングス1	048	24	A	E1-C7
06-1	ストリングス2	049	24	A	E1-C7

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
09-6	バスーン	070	24	B	A1-C5
09-7	クラリネット	071	24	A	D3-G6
09-0	ピッコロ	072	24	C	D5-C8
09-1	フルート	073	24	A	C4-C7
09-2	リコーダー	074	24	A	F3-C7
09-3	バンフルート	075	24	A	C4-C7
09-4	ボトлブロー	076	12	A	C4-C7
09-5	フル	077	24	A	G3-G6
09-6	ホイッスル	078	24	A	C4-C7
09-7	オカリナ	079	24	A	C4-C6

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
12-4	ブライトネス	100	12	A	C2-C7
12-5	ゴブリン	101	12	A	C2-C7
12-6	エコー	102	12	A	C2-C7
12-7	サイエンスフィクション	103	12	A	C2-C7
13-0	スター	104	24	A	C3-F5
13-1	パンジョー	105	24	A	C3-G6
13-2	三味線	106	24	A	C3-G5
13-3	箏	107	24	A	G3-C6
13-4	カリンバ	108	24	A	C3-G5
13-5	バグパイプ	109	12	A	C2-F5

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
02-4	リードオルガン	020	24	A	C2-C7
02-5	アコーデオ	021	12	A	F3-F6
02-6	ハーモニカ	022	24	A	C4-C8
02-7	バンドネオン	023	12	A	F3-F6
03-0	パロディストリングス	024	24	A	C2-C6
03-1	スーパーストリングス	025	24	A	E2-C6
03-2	ジャズギター	026	24	A	E2-D6
03-3	クリーンギター	027	24	A	E2-D6
03-4	ミュートギター	028	24	A	E2-D6
03-5	オーバードライブギター	029	24	A	E2-D6

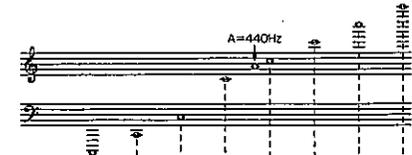
音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
06-2	シンセストリングス1	050	24	A	C2-C7
06-3	シンセストリングス2	051	12	A	C2-C7
06-4	クワイア	052	24	A	C3-G5
06-5	ボイス	053	24	A	C3-G5
06-6	シンセボイス	054	12	A	C3-G5
06-7	オーストララセット	055	12	A	C3-C5
07-0	トランペット	056	24	A	A3-A6
07-1	トロンボーン	057	24	A	A1-D5
07-2	チューバ	058	24	B	F1-G3
07-3	ミュートトランペット	059	24	A	A3-A6

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
10-0	スクエアウェーブ	080	12	A	A0-C8
10-1	ソルトウェーブ	081	12	A	A0-C8
10-2	カリオパ	082	12	A	C2-C7
10-3	チフリッド	083	12	A	C2-C7
10-4	チャラン	084	12	A	C2-C7
10-5	ボイスリード	085	12	A	C2-C7
10-6	フィフスリード	086	12	A	C2-C7
10-7	ベース+リード	087	12	A	A0-C8
11-0	ニューエイジ	088	12	A	C2-C7
11-1	ウォームパッド	089	24	A	C2-C7

音色番号	音色名	GM対応 音色番号	最大同時 発音数	音域の タイプ	GM推奨 音域
13-6	フィドル	110	12	A	G3-C7
13-7	シャナイ	111	24	A	C3-C5
14-0	ティンクルベル	112	24	A	C5-C8
14-1	アゴゴ	113	24	A	C4-C5
14-2	スチールドラム	114	12	A	E3-E5
14-3	ウッドブロック	*115	24	D	C4-C5
14-4	太鼓	*116	24	D	C4-C5
14-5	メロディックタム	*117	24	D	C4-C5
14-6	シンセドラム	*118	12	D	C4-C5
14-7	リバーシンドロ	*119	24	D	C4-C5

NOTE

- 音域のタイプ (A~D) は61ページの表を参照してください。
- *印は音階のない音色です。
- GM対応音色番号128~136のドラム音色の最大同時発音数は、12です。
- 音域のタイプBとCの音色はサウンドレンジシフト(50ページ)の設定で1オクターブ音域がずれます。



音域のタイプ	C-1	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	G7	C8	C9	G9
A (標準タイプ)													
B (低域楽器)													
C (PICCOLOのみ)													
D (サウンドエフェクト)													

- a鍵盤演奏時の音域 (サウンドレンジ シフト オン)
- b鍵盤演奏時の音域 (サウンドレンジ シフト オフ)
- c発音可能音域 (トランスポーズ、MIDIの変換時)
- dcの範囲の一番近い同名の音に置き代わる音域 (トランスポーズ、MIDIの変換時)

番号/ノート記号	C: スタングー ドセット	B: ルームセット	18: パウーセット	24: EVクローニックセット	25: シンセセット	32: ジャズセット	40: ブラジセット	48: オークストライセット	62: 邦イセット
E1 28	REGO	SLAP							
F1 29	SOXDRUM FLUSH								
G1 30	SCRATCH PUSH								
A1 31	A-1 32	SQUARE CLICK							
B1 32	METRONOME CLICK								
C1 33	METRONOME BELL								
D1 34	ROOM RICK 2	POWER RICK 2	POWER RICK 2	ELEC RICK 2	SYNTH RICK 2	JAZZ RICK 2	JAZZ RICK 2	JAZZ RICK 1	SYNTH RICK 1
E1 35	STANDARD RICK 2	POWER RICK 1	POWER RICK 1	ELEC RICK 1	SYNTH RICK 1	JAZZ RICK 1	JAZZ RICK 1	CONCERT BASS DRUM	VOICE RICK
F1 36	ROOM RICK 1	ROOM RICK 1	ROOM RICK 1	ROOM RICK 1	SYNTH RICK 1	POWER RICK 1	POWER RICK 1	CONCERT SNARE	VOICE RICK
G1 37	STANDARD RICK 1	ROOM SNARE 1	ROOM SNARE 1	ELEC SNARE 1	SYNTH SNARE 1	JAZZ SNARE 1	JAZZ SNARE 1	CASIANETS	VOICE SNARE
H1 38	STANDARD SNARE 1	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
I1 39	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
J1 40	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
K1 41	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
L1 42	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
M1 43	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
N1 44	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
O1 45	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
P1 46	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
Q1 47	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
R1 48	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
S1 49	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
T1 50	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
U1 51	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
V1 52	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
W1 53	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
X1 54	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
Y1 55	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
Z1 56	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AA1 57	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AB1 58	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AC1 59	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AD1 60	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AE1 61	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AF1 62	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AG1 63	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AH1 64	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AI1 65	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AJ1 66	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AK1 67	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AL1 68	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AM1 69	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AN1 70	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AO1 71	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AP1 72	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AQ1 73	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AR1 74	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AS1 75	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AT1 76	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AU1 77	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AV1 78	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AW1 79	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AX1 80	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AY1 81	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
AZ1 82	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BA1 83	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BB1 84	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BC1 85	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BD1 86	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BE1 87	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE
BF1 88	STANDARD SNARE 2	ROOM SNARE 2	ROOM SNARE 2	ELEC SNARE 2	SYNTH SNARE 2	JAZZ SNARE 2	JAZZ SNARE 2	CONCERT SNARE	VOICE SNARE

---:8L
---:8L
---:8L

リズムリスト

リズムグループ名	リズム番号	リズム名
0 ポップス I		
0-0	ポップ 1	
0-1	ワールドポップ	
0-2	8ビートポップ	
0-3	ソウルバラード 1	
0-4	ポップシャッフル	
0-5	8ビートダンス	
0-6	ポップバラード 1	
0-7	ポップバラード 2	
0-8	バラード	
0-9	フュージョンシャッフル	
1 ポップス II		
1-0	ソウルバラード 2	
1-1	16ビート 1	
1-2	16ビート 2	
1-3	8ビート 1	
1-4	8ビート 2	
1-5	8ビート 3	
1-6	ダンスポップ 1	
1-7	ポップフュージョン	
1-8	ポップ 2	
1-9	ポップワルツ	
2 ダンス/ファンク		
2-0	ダンス	
2-1	ディスコ 1	
2-2	ディスコ 2	
2-3	ユーロビート	
2-4	ダンスポップ 2	
2-5	グループソウル	
2-6	テクノ	
2-7	トランス	
2-8	ヒップホップ	
2-9	ファンク	
3 ロック I		
3-0	ポップロック 1	
3-1	ポップロック 2	
3-2	ポップロック 3	
3-3	ファンキーポップ	
3-4	ポップシャッフル	
3-5	ロックバラード	
3-6	ソフトロック	
3-7	ロック 1	
3-8	ロック 2	
3-9	ヘビーメタル	

リズムグループ名	リズム番号	リズム名
4 ロック II		
4-0	60' Sソウル	
4-1	60' Sロック	
4-2	スローロック	
4-3	シャッフルロック	
4-4	50' Sロック	
4-5	ブルース	
4-6	ニューオーリンズロック	
4-7	ツイスト	
4-8	リズム&ブルース	
4-9	ロックワルツ	
5 ジャズ		
5-0	ビッグバンド 1	
5-1	ビッグバンド 2	
5-2	ビッグバンド 3	
5-3	スイング	
5-4	スロースイング	
5-5	フォックストロット	
5-6	ジャズコンボ	
5-7	ジャズボイス	
5-8	アシッドジャズ	
5-9	ジャズワルツ	
6 ヨーロピアン		
6-0	ポルカ	
6-1	ポップポルカ	
6-2	マーチ 1	
6-3	マーチ 2	
6-4	ワルツ	
6-5	スローワルツ	
6-6	ウイナーワルツ	
6-7	フレンチワルツ	
6-8	セレナード	
6-9	タンゴ	
7 ラテン I		
7-0	ボサノバ 1	
7-1	ボサノバ 2	
7-2	サンバ 1	
7-3	サンバ 2	
7-4	マンボ	
7-5	ルンバ	
7-6	チャチャチャ	
7-7	メレンゲ	
7-8	ボレロ	
7-9	サルサ	

リズムグループ名	リズム番号	リズム名
8 ラテン II/その他 I		
8-0	レゲエ	
8-1	フンタ	
8-2	クンビア	
8-3	パソドブレ	
8-4	スカ	
8-5	ブルーグラス	
8-6	デクシー	
8-7	テックスメックス	
8-8	カントリー 1	
8-9	カントリー 2	
9 その他 II		
9-0	フォルクローレ	
9-1	ジャイブ	
9-2	ゴスペル 1	
9-3	ゴスペル 2	
9-4	シルタキ	
9-5	ハワイアン	
9-6	アダニ	
9-7	バラディ	
9-8	演歌	
9-9	ストリングカルテット	

コード 表示 モード	メジャー (M)	7 (7)	m7 (m7)	dim7 (dim7)	M7 (M7)	m7♭5 (m7♭5)	dim (dim)	aug (aug)	sub4 (sub4)	7sus4 (7sus4)	m add9 (m add9)	mm7 (mm7)	7♭5 (7♭5)	add9 (add9)
C														
C1(D)														
D														
(D)E														
E														
F														
F1(G)														
G														
(G)A														
A														
(A)B														
B														

※1 ※2 ※3 ※4 ※5

・ルートがA、B、Bの時のdim7およびB7がB、Bの時のaugは、スプリットポイントの設定(50ページ参照)で伴奏編成を変更する事で指定できます。

製品仕様

型式	LK-160PC
鍵盤 ・光鍵盤	61鍵 5オクターブ(標準鍵)……タッチレスポンス機能付き(オン/オフ) 同時発光数(最大10鍵)、オン/オフ設定可
音色数	128GM音色+9ドラム音色(計137音色)……レイヤースプリット可
リズム楽器音色数	61音色
同時発音数	最大24音(一部音色により最大12音)
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラー ・伴奏の音量	100種類 可変(226段階 J=30~255) 3種類(カシオコード/フィンガード/フルレンジコード) スタート/ストップ、イントロ、ノーマル/フィルイン、パリエーション/フィルイン、エンディング、シンクロ 0~127(128段階)
3ステップレッスン機能 ・再生方式	3種類(ステップ1、2、3) 1曲繰り返し再生
ソングバンク機能 ・ソング数 ・コントローラー	80曲+ダウンロード曲1曲 演奏/一時停止、早戻し、早送り、リピート、左手、右手
ミュージカルインフォメーション機能 ・表示モード ・内容	通常表示、楽譜表示、運指表示 音色/自動伴奏/ソングバンクの番号および名称、テンポ、小節数、拍数、拍インジケータ、コードネーム、 楽譜、歌詞、ペダル
メトロノーム機能 ・拍子設定	オン/オフ 0、2、3、4、5、6拍子
ソングメモリー機能 ・曲数 ・録音トラック ・録音方法 ・メモリー容量	4曲(ユーザーソング:2曲、レッスンソング:2曲) ユーザーソング:システム、右手×ロディー、左手×ロディー レッスンソング:右手、左手、両手のいずれかを選択 リアルタイム録音 約5,200音行(4曲合計)
MIDI機能	16マルチティンバー受渡、GMレベル1準拠
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	25段階(-12半音~0~+12半音) 101段階可変……A4=A約440Hz±50セント
端子 ・MIDIイン/アウト端子 ・サステイン/アサイナル端子 ・ヘッドホン/アウトプット端子 ・マイク入力端子 ・電源端子	イン、アウト 標準ジャック(サステイン、ソステヌート、ソフト、リズムのスタート/ストップ) ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス78Ω 出力電圧3.5V(RMS)MAX 標準ジャック(マイクボリューム付き) 入力インピーダンス47kΩ 入力感度15mV DC9V
電源 ・電池 ・家庭用100V電源使用 ・オートパワーオフ機能	2電源方式 単1形電池6本使用 電池持続時間:約4時間……マンガン電池使用時 ACアダプターAD-5JLを使用 約6分後(電池使用時) キャンセル可能
スピーカー出力	2.5W+2.5W
消費電力	9V=7.7W
サイズ	幅96.1×奥行き37.5×高さ14.7cm
重量	約5.8kg(電池含まず)
付属品	説明立て、ACアダプター(AD-5JL)、USB対応MIDIインターフェイス(Ui-7)、取扱説明書(本書)、保証書、 楽譜集、CD-ROM、CD-ROMガイド

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品の品名内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-3A
	CP-16
サステインペダル	SP-2
	SP-20
イス	CB-5
	CB-7
	CB-9BN
ソフトケース	SC-550B

商品名	品番
スタンド	CS-4B
	CS-7W
	CS-10
	CS-22
FDプレーヤー	FD-1
FD-1用取付アダプター	AH-1
MIDIケーブル	MK-5
USB対応MIDIインターフェイス	Ui-9

楽譜集は66ページをご覧ください。

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店(全国の有名楽器店、デパートなど)でお求めになれます。

カシオトーン用ソフトのご紹介

楽譜集

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリー
カシオトーンランドシリーズ

CFL-101YC よこそカシオトーンソフト	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた1	CFL-104KU こどものうた2	CFL-107HP ヒットポップス	CFL-108NM ニューミュージック	CFL-109EL イージーリスニング
(子供用入門) 大きな栗の木の下で 茶色のごびん かっこう 他全37曲	(大人用入門) 河は呼んでる 500マイルはなれて 駅構車 他全35曲	アイアイ いぬのおまわりさん ぞうさん 他全45曲	春がきた 赤とんぼ ハイ・ロー 他全44曲	すべてをあなたに やさしく歌って レット・イット・ビー 他全29曲	いとしのエリー ANNIVERSARY SUMMER CANDLES 他全24曲	オリーブの首飾り マイ・ウェイ ある愛の詩 他全29曲
CFL-110KH カラオケヒット	CFL-111HS ヒットソング1	CFL-112HS ヒットソング2	CFL-113RK 永遠のロック			
釜山港へ帰れ つくえない 別れても好きな人 他全30曲	想がいるだけで それが大事 ラブストーリーは突然に 他全20曲	SAY YES どんなときも 会いたい 他全21曲	新しい影 キララ・クイーン スモーク・オン・ザ・ フューチャー 他全21曲			

★上記ご案内は、本書印刷時点でのものです（万一品切れの際はご容赦ください）。
★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパート）でお求めになれます。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

- テレビやラジオの近くでは使わないでください。
テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから充分に離してお使いください。
- お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。
鍵盤などのお手入れは、柔らかい布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。
- 極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。
液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の「ウエルドライン」と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエテグテグ

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

Model LK-160PC MIDI インプリメンテーション・チャート

Version : 1.0

フアンクション	送信	受信	備考
ベジック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲 1~16*1 1~16	1~16 1~16	*1: 電源供給のある間 は保持される
モード	電源ON時 メッセージ 代用 * * * * * * * * * *	モード3 X * * * * * * * * * *	
ノート ナンバー	12~120	0~127	
ベロシティ	ノート・オフ X 8nH v=64	9nH v=1~127 X 9nH v=0, 8nH v=**	** : 関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別 X X	X O *3	
ピッチ・バンド	X	O	
コントロール チェンジ	0,32	O	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ポリエーム パン エクスプレッション ホールド1 ソステヌート ソフトペダル RPN LSB, MSB オールサウンドオフ リセットオールコントロール
	1	X	
	6, 38	O *4	
	7	X	
	10	X	
	11	X	
	64	O *5	
	66	O *5	
	67	O *4	
	100, 101	O *4	
120	X		
121	O		
プログラム チェンジ	設定可能範囲 O 0~127 * * * * *	O 0~127 * * * * *	
エクスクルージブ	O *6	O *6	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン X X X	X X X	
リアル タイム	クロック コマンド O O	X X	
その他	ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング システムリセット X O X X	X O O X	
備考	*3 : モジュレーションとチャンネル別アフタータッチは同一効果 *4 : ファインチューン、コースチューンの送受信、およびピッチベンドセンサ、RPN Nullの受信 *5 : アサインナブル端子の設定により択一 *6 : GM オン/オフ GM ON : [F0] [7E] [F7] [09] [01] [F7] GM OFF : [F0] [7E] [F7] [09] [02] [F7]		

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

O : あり
X : なし